高知大学 医学部

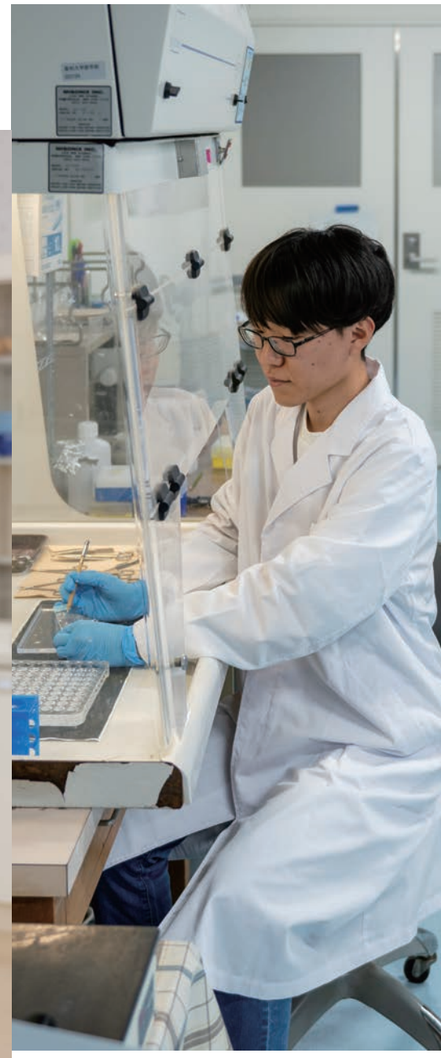
医学科／看護学科

KOCHI MEDICAL SCHOOL
Guidebook 2026

高知大学
Kochi University

Kochi Medical School

天を敬い人を愛す



医学部の使命

- ○ 人間性豊かな良き医療人づくり
- ○ 地域医療に密着した学風づくり

高知ブランドの人材を世界に輩出！

高知大学医学部は、建学以来、他人を思いやる利他の心を持ち人として正しい道を歩み（敬天愛人）、真実を大切にしつつも新しいものを生み出そうと努める（真理の探究）という確固たる姿勢で、生涯に亘り医学を学び、社会が求める医療を実践できる人材を育成しています。

研究マインドを育成する「先端医療学コース」、実践的に地域医療を学ぶ「家庭医道場」など、全国に先駆けた教育プログラム。光で癌を診断・治療する「光線医療」、自らの臍帯血幹細胞で脳性麻痺を治す「ヒト臍帯血幹細胞輸血治療」など、世界的な研究シーズ。これらを介して、次世代の医学・看護学を開拓し牽引する高知ブランドの人材を育成し世界に輩出しています。さあ、共に学び、共に悩み、共に笑いましょう！ みなさまと会えることを楽しみに、ここ南国土佐、高知で待っています！

高知大学 医学部長　井上啓史

CONTENTS

巻頭特集 フロンティアに挑む - ①
04 災害・救急医療の最前線

巻頭特集 フロンティアに挑む - ②
06 ラオスでの感染症予防教育

巻頭特集 医療の未来を担う - ①
08 早期の臨床体験で、目指す医師像を描く

巻頭特集 医療の未来を担う - ②
10 多様な現場で、看護の心に触れる

[学科紹介]
12 医学科
14 医学科の学び紹介
17 国家試験・進路データ
18 卒業生からのメッセージ
19 先輩の１日

20 看護学科
22 看護学科の学び紹介
25 国家試験・進路データ
26 卒業生からのメッセージ
27 先輩の１日

[中特集]
28 地域の最前線で学ぶ 黒潮医療人養成プロジェクト

30 学びの質保証　医学教育 IR 室の取り組み
31 卒業後のキャリアパス

32 海外留学・国際交流
34 医学部の１年間
36 サークル・課外活動
38 キャンパスマップ

K·M·S RESEARCH

フロンティアに挑む - ①

災害・救急医療の最前線

南海トラフ地震の想定震源域に含まれる高知県は、地域社会が一体となって防災・減災対策に取り組む“防災先進県”の一つであり、高知大学医学部と附属病院もその連携の中で大きな役割を担っています。そんな中、能登半島地震における被災地支援の教訓から、四国4大学が連携した新たな災害・救急医療の体制づくりが始まっています。

高知大学医学部 災害・救急医療学講座

本学医学部附属病院は、一般救急と小児救急における2次救急病院、周産期救急における3次救急病院であり、また災害時においては高知県の「広域的な災害拠点病院」に位置付けられている。災害・救急医療学講座はその臨床・研究・教育の中軸として、日々の救急治療はもとより災害・救急医学の探求と人材育成に取り組んでいる。

先端医療への挑戦

四国４大学連携で空路搬送シミュレーションを開発

2024 年の年初に起こった能登半島地震。本学からも、災害急性期の救急治療を行う DMAT（災害派遣医療チーム）、急性期以降の被災者の健康管理や公衆衛生支援などを行うJMAT（日本医師会災害医療チーム）が派遣され、被災地の支援にあたりました。その際、医療救護活動の大きな壁として立ちはだかったのが、道路の寸断・途絶です。その教訓から我々は、来る南海トラフ地震に備え、愛媛大学、香川大学、徳島大学と連携し、災害時の空路搬送についての研究に着手しました。

災害時、高知大学医学部附属病院は「広域的な災害拠点病院」としてヘリコプターを活用した患者域外搬送の拠点となりますが、これまで空路搬送の具体的検討はなされていませんでした。そこで、外部識者なども交えて空路搬送のシミュレーションを構築し、四国４大学間で共有することで、いざという時の救急救命に貢献したいと考えています。

災害・救急への意識を底上げ

研究では、先端医療学コースで当講座に所属する学生たちも参加し、各大学の災害マニュアルを照らし合わせて附属病院の院内体制を整えると同時に、在学生の災害時の行動意向調査を行っています。災害時、自分の身の安全が確保できた医学生が大学病院に参集してくれれば、グラウンドに降りたヘリから病院までの患者搬送など、できることは多くあります。また、将来どの診療科に進んだとしても、災害医療や救急医療の知識や経験は必ず生きてきます。空路搬送の検討をきっかけに、大学全体の災害時の体制整備や、学生の意識向上にもつなげたいと考えています。

a. 附属病院ヘリポートでの訓練の様子／ b. 高知県総合防災訓練に学生が参加
c. 救急外来でのレクチャー

世界に目を向けられる医師に

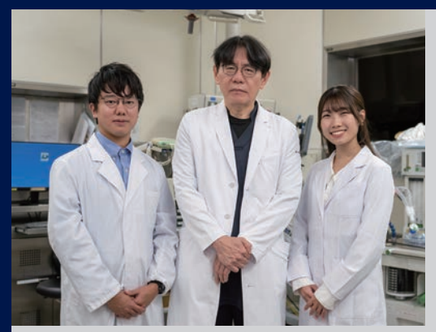
災害医療は、救急医療の延長です。救急は限られた状況で治療しなければならない場合がありますが、災害時は医療の不均衡の中、それをどう解決していくかが求められます。救急医の実力が問われるところです。私は以前、国連の人道支援活動を調整する機関 OCHA の研修に日本代表として参加していましたが、国際社会では自然災害だけでなく武力紛争も災害に含まれます。これから医師を目指す皆さんには、目の前の患者さんはもちろん、そういったことにも目を向けられる感性を養ってほしいと思います。高知大学で、一緒に学びましょう!

宮内 雅人 教授
災害・救急医療学講座

学生たちの挑戦

医師としての探求心を育てる

医学部は、研究と臨床を往還しながら最新の医療を切り開いていく場所であり、次代の医療人を育む場所です。医学科２ ～ ４ 年次の先端医療学コースでは、学生が希望する講座に所属し、研究チームの一員として教員の指導のもと基礎・臨床研究に取り組みます。



左から、山﨑直樹さん、宮内雅人教授、森由衣華さん

日本災害医学会での発表を準備中

山﨑 直樹 医学科２年

僕は父が DMAT 隊員であったことから、災害救急に興味を持ちました。研究では「広域医療搬送」をテーマに選び、来年の日本災害医学会での発表に向けて準備を進めています。また、日本災害医学会学生部会 DMAS に参加したり、黒潮医療人養成プロジェクト※で三重や神戸に行って他大学の方と交流したりと、幅広く学ぶことができています。首都圏や世界での経験が豊富な宮内先生のもと、さらに研鑽を積んでいきたいです。

※ P28-29 もご覧ください

災害時、自分から動ける医師に

森 由衣華 医学科２年

私は高校時代、ホームレス支援のボランティアに関わった経験から医師を目指しました。授業では、入学前には想像もしていなかった学びがたくさんあります。救急救命士や看護師さんから話を聞かせていただいたり、県の総合防災訓練に傷病者役として参加させていただいたりする中で気づいたのは、受け身ではダメだということ。訓練や勉強を重ね、災害が起こった時に自分から動ける医師になりたいと思っています。

K·M·S RESEARCH

フロンティアに挑む - ②

ラオスでの感染症予防教育

グローバル化の進展により感染症対策にますますの国際協力が求められる中、高知大学医学部においても、JICA（国際協力機構）草の根技術協力事業の一つとして、ラオスにおける寄生虫感染症対策の支援が進められています。現地と日本を往還しながら、住民に寄り添った保健教育の推進によって、感染症制圧の一助になることを目指しています。

JICA草の根技術協力事業 研究チーム

2022 年から JICA 草の根技術協力事業の 1 つ（支援型）として、高知県立大学、タイの Mahasarakham University と協働して、タイ肝吸虫症とメコン住血吸虫症の対策に関する保健教育支援に取り組む。支援は 2025 年以降も継続される予定。

先端医療への挑戦

２つの寄生虫感染症から住民の命と健康を守る

「顧みられない熱帯病（Neglected Tropical Diseases 以下 NTDs）」という言葉を聞いたことがありますか?これは、WHO（世界保健機関）が「人類が制圧しなければならない熱帯病」としている疾患で、その多くが水や衛生環境、ヘルスケアへのアクセスが不十分な地域に集中しています。私たちがラオスで取り組んでいる「タイ肝吸虫症」と「メコン住血吸虫症」もこの NTDs の一つです。タイ肝吸虫症は生魚を食べることを通して体内に入り増殖して胆管癌を引き起こし、メコン住血吸虫症は川の水に触れることによって皮膚から侵入して消化器障害や腹水などの原因となります。どちらも食生活や生活習慣の改善など適切な対策で防ぐことができます。

今回、私たちはラオス南部チャンパサック県の集落に入り、人々がどんな生活習慣を持っているのかアンケート調査を行うと同時に、便と尿を採取して感染の有無を確認しました。そして、寄生虫の感染経路を断つために、生ではなく加熱して魚を食べる調理の仕方や調理器具の取り扱い、手洗い、水の使い方などの住民ワークショップを行い、感染症予防について一緒に学びました。

とはいえ、すべてを急に変えることはできません。なぜなら、魚の生食や川と暮らしの結びつきは住民の方にとっては長年なじんだ習慣であり、文化だからです。そこで、少しでも危機意識を持ってもらうことで感染のリスクを下げることを目標に、保健教育に取り組みました。

笹岡 晴香 准教授
基礎看護学講座（基礎）

a. ラオス、ビエンチャンの市場で売られている魚
b. 料理教室で、魚が十分加熱できたか中心温度を計測／c. 集会所に掲示されたポスター

根底にあるのは、看護の「寄り添う心」

実はこのことは、看護の基本に通じています。いくら疾患の予防によいとわかっていても、それを受け入れなさいと一方的に指導することはできません。大切なのは、患者さんに寄り添うことです。

看護では、患者さんの生活そのものを看ながら、その中でできることを一緒に探していきます。そうでないと、病院で指導した時だけできて、家に帰ったら元に戻るというようなことが起こってしまいます。患者さん自身が主体的に、自分の治療や生活を考えていく必要があるのです。

高知大学で学ぶ学生の皆さんには、グローバルな視点と共に、そういった看護の基本をしっかりと身に付けてもらいたいと思います。大学での4年間は本当に自由です。勉強はもちろん、部活やアルバイト、ボランティア活動など、今しかできないことをたくさん経験して、医療人としての土台を築いてほしいと思います。

学生たちの挑戦

看護学科４年生たちの研究活動

看護師、保健師、養護教諭を育成する看護学科。隣接する附属病院や協力施設での実習を学びの柱にしながら、4 年生では 2 ～ 6 名のチームで卒業研究に取り組みます。看護の現場で研究疑問を得て、それを論文にまとめ上げることで、課題解決力や論理的思考力などを養います。

▶ 卒論テーマ一覧（令和 6 年度）

- 看護学生の自然災害への意識　―命を守る行動について―
- 看護学生のボディイメージの認識とダイエット行動の関連
- 災害時ボランティア活動に影響する要因
- 看護学生のマスク着用に関する意識調査
- 看護系女子大学生の臨地実習における月経に伴う苦痛の実態について
- 継続した内服を必要とする子どもの文献レビュー ～内服が継続してできる要因とできない要因～
- 児に対する養護者のコミュニケーションに影響する要因
- 乳幼児を持つ父親の育児ストレスに関する文献検討
- 若年女性の痩せに関する文献検討―痩身願望に着目して―
- 臨地実習における看護学生のコミュニケーション上の困難の特徴と乗り越え方に関する文献検討
- 養護教諭が行う救急処置技術の経験と自信の関係
- 災害時におけるx大学看護大学生の防災意識と災害自己効力感の関連について
- 学校での生理用ナプキン提供の実態と学生が希望する支援
- 介護支援専門員の感じている個別避難計画の現状と今後の課題について
- A 大学医学部学生における献血行動の実態と骨髄バンクに対する関心との関連
- 「領域別実習中の指導と看護学生の職業選択との関連～教員に限定して～」
- 看護学生の臓器提供への意思と健康への意思との関連

K·M·S
EDUCATE

医療の未来を担う - ①

早期の臨床体験で、目指す医師像を描く

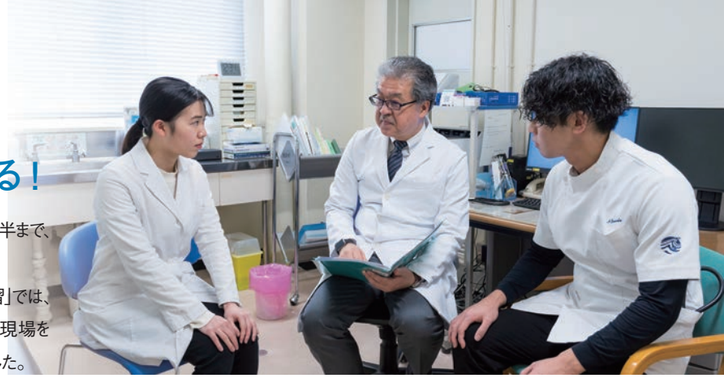
高知大学医学部医学科では臨床実習の充実に重点を置いたカリキュラム改革が進んでいます。柱は、臨床実習を行う上級生と１～３ 年生がペアを組んで医療の現場に入る「臨床体験実習」。下級生、上級生ともに高い教育効果が示され、2023 年度に受審した医学教育分野別評価でも高い評価を得ています。

医学科の実習カリキュラム

１年生から段階的に臨床の現場に触れながら学んでいきます。

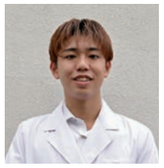
１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生
初期臨床医学体験（4月）	★臨床体験実習（1年次2月、2年次9月、3年次2月）		診療技能実習・共用試験	診療参加型臨床実習	

上級生とペアを組み、１年生から臨床の現場に入る！



従来の日本の医学教育では､共用試験に合格する４年生の後半まで、医療の現場に入る学びはほとんど行われていませんでした。
しかし､高知大学が2018年度から導入している｢臨床体験実習｣では、１～３ 年生も白衣を着てペアを組んだ上級生と一緒に臨床の現場を体験します。この新しい学びについて学生たちから話を聞きました。

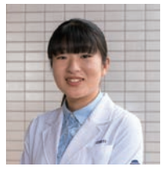
何のために勉強しているのか、明確な実感が得られる



古川 蒼士
医学科２年

私は、一年次は呼吸器外科、二年次は救急部で臨床体験実習を行いました。呼吸器外科ではダビンチによるロボット支援手術を見学することができ、救急部では実際の治療だけでなく心肺蘇生法や災害医療について学ぶことができました。
ともに座学では学べない臨床現場の雰囲気やコミュニケーションの取り方を学ぶことができました。また、座学で学んだ知識を臨床の現場でどう活かすかを実際に目で見、肌で感じることで、より一層医師になるために勉強しているという実感が得られました。
実習中・実習後には質問や復習の機会が設けられており、わからないことが解決できるので医学の学習に対するモチベーションが上がり、これからも座学・実習ともに全力で取り組んでいきたいと思いました。

やりがいと同時に、自覚と責任を再認識



折戸 郁星
医学科６年

先輩方について参加した臨床体験実習から早くも月日が経ち、ついに私も臨床実習生として医療チームに加わり、臨床の現場を体験させていただくようになりました。実際に医療面接や身体診察、診療計画の記載などを経験し、医療者として必要な知識、技能、態度を学んでいます。自分一人で患者さんと接することは初めてで、最初のうちはとても緊張していました。しかし、毎日訪問させていただく中でご自身のこと、今お困りのことなどを少しずつお話ししてくださるようになったり、「来てくれてありがとう」と声をかけていただいたりと、今まで経験したことのないやりがいを感じることができました。さらに、「先生」と呼ばれたり、患者さんから質問を受けたりすることもあり、改めて自分の立場と行動に自覚と責任を持つようになりました。
実習を通して得た経験を活かし、将来患者さんの役に立てる、頼れる医師になれるよう、より一層勉強に励んでいきます。

教育の現場、臨床の現場から

現場主義とオール高知が医療の未来を創る

高知大学医学部医学科のカリキュラムは、建学の精神である「敬天愛人」「真理の探究」を実践できる豊かな人間性と高度な知識・技能を身につけた医師の育成を目指しています。
この目標を達成するため臨床体験実習においては、上級生とペアを組み1年生から臨床の現場に入ることで早期に目指す医師像を確立し、若手医師との交流を通じて近未来目標もイメージできることを目指しています。
医師になる希望にあふれる1年生から白衣を着て臨床の場に出ることで、常に緊張感をもって目指す医師像に邁進してほしいと考えています。また、これらの取り組みを通じて、後輩の一生懸命な姿が上級生や先輩若手医師にも良い影響がもたらされることも期待しています。

瀬尾 智 教授 外科学講座

K·M·S EDUCATE

医療の未来を担う - ②

多様な現場で、看護の心に触れる

高知大学医学部看護学科では、隣接する附属病院を拠点として1年生から、看護の現場に触れる体験や実習が行われています。また、学年に応じて段階的に、在宅医療や地域の保健・福祉との連携など、多様な現場を体験しながら学びを深めていきます。

看護学科の実習体系

附属病院を軸に、様々な地域の現場で実習が行われます。

	1年生	2年生	3年生	4年生
附属病院	基礎看護学実習Ⅰ	基礎看護学実習Ⅱ	領域別看護学実習（成人・高齢者・精神・小児・母性の5領域）	統合看護実習
外部施設	コミュニティ共生実習	高齢者看護学実習Ⅰ 健やか親子実習	領域別看護学実習（在宅）	（選択）・公衆衛生看護学実習・養護実習

低学年から、附属病院だけでなく地域に入って患者さんと関わる

隣接する附属病院の存在は、看護を学ぶ上で恵まれた環境です。看護学科では１年生２月と２年生９月に、附属病院の病棟に入る「基礎看護学実習」が組まれており、早い時期から臨床の現場に触れることで看護師になる自覚を促し、学習への意欲を高めることができます。

また看護を行う上では、患者さんがふだん地域でどのような暮らしをされているのか、退院して地域に帰られたらどのような支援の仕組みがあるのかを知っておくことが大切です。そこで社会福祉協議会にご協力いただき、学生が地域に入る「コミュニティ共生実習」を１年生２月に行っています。

臨地実習で、多様な看護過程を実践

本格的な看護の実習は３年生で行われます。９月から２月までの６カ月間、行われる「領域別看護学実習」では、附属病院で成人・高齢者・精神・小児・母性の５領域が実習を行います。受け持ち患者さんとの会話や電子カルテなどの情報からその方に必要な看護を考え、計画を立てて介入し評価するという一連の看護過程を、講習会を受講した実習指導者と教員の指導体制のもとで、学生が主体的に実践していきます。その中で、コミュニケーションや看護に必要な総合的な視点など、患者さんを通して実に多くのことを学ばせていただきます。

さらに、地域の特別養護老人ホームやデイサービス、訪問看護ステーションなどの現場でも実習を行います。地域と病院の両方の現場に入ってその連携を知ることで、より深い理解と学びにつながっています。

看護学科長 **大坂 京子**
臨床看護学講座（精神）教授

看護の醍醐味を学んでほしい

このように、附属病院はもちろん地域全体が学生の実習を積極的に受け入れてくれるのは、やはり医学科と看護学科が併設されている高知大学だからです。授業でも両学科の学生が一緒に学ぶ機会があるほか、部活動でも協力しあっています。それは将来、チーム医療で専門職として対等な立場で意見を交わし合うというベースにもなるはずです。

看護も医療も、人と人との関わりの中で生まれるものです。科学の進化に対応した看護技術や知識の修得はもちろん大切ですが、一方で数値では表せない表情や雰囲気、息遣いなどを汲み取りながら患者さんに寄り添うのが、看護の醍醐味とも言えます。そういったこともぜひ高知大学で学んでほしいと願っています。

実習の現場から

多くの気づきや学びを得ながら、目指す看護師像に近づく

実習での気づきが看護観の成長へ

増田 芽吹
看護学科３年

附属病院での実習では、専門性の高い知識が求められ、疾患や状況に応じた看護を展開することの難しさに直面しました。しかしその中で、患者さん一人ひとりがその人らしく生活できるよう、寄り添う看護について日々考え、向き合う姿勢が大切だと教わりました。実際に患者さんと関わることで、座学では得られない気づきや学びが多く、自分の看護観を見つめ直すことができたと感じています。

患者さんの強みを生かした看護の必要性を学んだ

池田 梓純
看護学科３年

３年間の実習を通して、患者さん自身が持っている力に注目して看護を展開していくことの必要性を学びました。患者さんは治療を目的に入院されますが、生活の場では様々な工夫をして過ごされています。患者さんのできない部分を看護するだけでなく、できている部分を活かした介入を行うことで患者さんの生活を尊重した看護を実践することに繋がると学びました。様々な実習環境が自身の刺激となり、今後の看護観や看護師像について深く考える機会になりました。

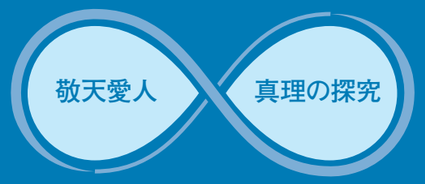
高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する

医学科

Medical course

建学の精神は平木潔初代学長の言われた「敬天愛人」と「真理の探究」です。「医学を学ぶものは科学者であり、真理を守り追究する決意が必要である。しかし科学は万能ではなく限界があり、大自然の摂理に謙虚な気持ちを常に保持すべきである」ことを意味します。私たちは、医の倫理を身につけた人間性豊かで、高度の知識・技能を有する臨床医・研究者として、時代の要請に応じうる“心を診る医師”を養成することを目指しています。

■ 教育理念



医学科は、前身である高知医科大学 建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に対応しうる医師を養成します。

▶ 本学科では、このような人材を育成します

卒業時の達成指針

医の倫理とプロフェッショナリズム

良識のある社会人として、人間性豊かで倫理観と責任感に富み、安心・安全な医療に関心を持ち、実践することができる。さらに、医師の社会的使命を意識し、自己研鑽することができる。

コミュニケーション

互いの立場を尊重した人間関係を築くために、良好なコミュニケーションを実践できる。

医学の知識と技能

医療に携わるための基盤となる高い教養を身につけるとともに、医学に関する幅広い専門知識と技能を修得する。

地域における医療と公衆衛生の実践

国際的健康や医療の観点を持って、自ら診療する地域の保健、医療、福祉などの社会資源を活用して、積極的に地域の課題解決に取り組むことができる。

真理の探究

自ら探究すべき課題を見つけ、医学の知識を統合的に活用し、課題解決に取り組むことで社会に貢献できる。

▶ 入学者として、このような学生を求めています

受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

医学科は、「医師としての倫理観を持ち、良識のある社会人として行動する力」、「コミュニケーション力」、「医学に関する幅広い知識と技能」、「地域の医療へ貢献する力」及び「自ら真理の探求に取り組む力」を有する人材を養成します。

知識・技能

1. 医学知識を修得するために必要となる幅広い分野の基礎知識として、高等学校卒業程度の教科学習に関する知識があり理解している。

思考力・判断力・表現力

1. 学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探求することができる。
2. 科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる。
3. 自分の考えを口頭あるいは図や文章を用いて筋道を立てて明確に表現することができる。

主体性・多様性・協働性

1. 自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている。
2. 協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる。
3. 多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる。

関心・意欲

1. 生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている。
2. 高知県内の地域医療に従事する強い意欲がある。（一般選抜［地域枠（大学独自枠）］、学校推薦型選抜Ⅱ、総合型選抜Ⅰ）
3. 社会的な善悪に対して正しく判断し、自分の発言や行動に責任を持つことができる。

医学科の学び 6年間の流れ

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています（EME 初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、臨床体験実習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など）。
また、2～4 年生の間はTBLなどのグループ学習か先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

初めての白衣に感動。現場での体験が学習意欲に!

1年生 EME 初期臨床医学体験

入学直後の早い段階から医療・介護・福祉の現場を体験することで、自分の将来像を描き、医学生として必要な心構えや態度を身につけることを目的とした実習です。一次心肺蘇生（BLS）を学ぶ実習のほか、附属病院の検査部、リハビリテーション部、薬剤部、栄養管理部でコメディカルスタッフの業務の実際を学ぶ実習、高知市・南国市内の診療所に訪れるプライマリ・ケア実習など、さまざまな体験をします。

「専門科目の満足度」（1 年生アンケートより）

2024 年度	★★★½☆	10.0 満点中 7.1
2023 年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.8
2022 年度	★★★½☆	10.0 満点中 7.5

EME は 7 割以上の人が満足度の理由に挙げています。1年生の専門科目の中ではダントツ1位の評価です。

※「IR」については P.30 をご覧ください

1

■ 教養科目
■ EME初期臨床医学体験

■ 基礎医学・実習
解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他

2

先端医療学コース

統合医学コース

■ 臨床医学
臨床推論学／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学／内分泌・代謝学／脳神経外科学／他

3

4

臨床実習

診療チームの一員として、臨床現場で学ぶ

4～6年生 臨床実習

臨床実習は附属病院および地域医療機関で行われ、学生が診療チームの一員として患者さんの診察に参加するため、「診療参加型実習」と呼ばれるようになりました。患者さんの問診や診察、治療計画の策定、カルテへの記載、医療スタッフへの連絡といった実際の診療に関わることで、医師としての思考法や診療技能だけでなく、患者さんの社会・心理的背景に配慮するなど、「人を診ることのできる医師」になるために必要な態度・習慣を身につけていきます。

5

■ 臨床実習開始前の共用試験 CBT・OSCE
臨床実習に進むための知識を評価する CBT（コンピュータ試験）と態度・技能を評価する OSCE（客観的臨床能力試験）を行います。これは全国の医学部で共用して用いられる試験で、合格すると臨床実習に進むことができます。

6

医師国家試験

■ 卒業試験

■ 臨床実習後 OSCE
臨床実習が終了し、卒業するに値する臨床能力が身についているかどうかを、臨床例を模した課題で評価します。
知識を評価する卒業試験とともに、卒業要件の一つとなっています。

チーム基盤型学習を通じて、能動的学びを身につける

2～4年生 統合医学コース

統合医学コースでは、医療現場で最新の医学知識や情報に基づいてチームで問題解決を行う能力を養うために、さまざまな能動的学習法を取り入れています。その一つであるチーム基盤型学習（TBL:Team-Based Learning）では、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBL は米国発祥の学習法で、高知大学医学部が日本で初めて導入し、現在では多くの医学部でも採用されています。

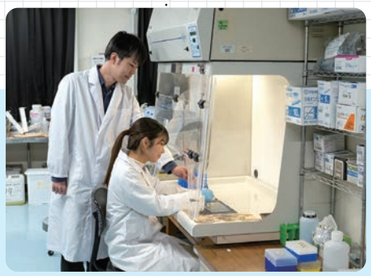
TBLでは、右記の3つのフェーズを繰り返しながら学びます。

① 予習（個人学習） → ② 準備確認（多肢選択テスト） → ③ 学習テーマの応用（グループ討論、全体討論）

「アクティブラーニングの満足度」（卒業予定者アンケートより）

2023 年度	★★★★☆	10.0 満点中 7.5
2022 年度	★★★½☆	10.0 満点中 7.3
2021 年度	★★★☆☆	10.0 満点中 6.8

統合医学コースの授業内で行われるアクティブラーニング（教員による一方的な講義ではなく学生が能動的に参加する授業）も、学生から好評です!



医学研究を通して、課題探求能力を高める

2～4年生 先端医療学コース

独自性とリサーチマインドを持った医師・医学者の育成を目指し、最先端医療研究を通して、医学研究に必要な基礎学力と課題探求能力を涵養します。学生は、医学部附属先端医療学推進センター内の研究班のいずれかに所属して研究に携わり、成果を論文にまとめます。また国内学会や国際学会にも積極的に参加し、国際感覚も磨いていきます。

大学院 MD-PhDコース
先端医療学コースを修了した学生は、医学部を卒業後、大学院博士課程医学専攻 MD-PhD コースにおいて、さらに研究を深化発展させることができます。

医学科 学びを支えるポイント

医学科教育の最終目的の一つは、医療の実践力を養うことです。そのために、高学年では附属病院での臨床実習があります。そこでは、各専門分野の課題に取り組み、患者さんの症状や訴えなどから診断にたどりつくための幅広い臨床推論能力を養うとともに、基本的診療技能および医療コミュニケーション能力を高めます。さらに、医療チームの一員としての役割を認識し、他職種と協働できるための姿勢を身につけます。そのためには、専門的知識を幅広く身につけることはもちろん、自ら探究すべき課題を提起し、異なる科目にまたがる知識を統合して解決に取り組むことが求められます。また、自分の考えを論理的、明確に表現することや診療に関わる内容を適切に表現する能力が重要となります。これら高度な内容を学修するためには、しっかりとした土台となる予備知識が必要です。そのために、まず 1 年次に自然科学系および人文科学系を含む教養科目などを学びます。

1年生履修 EME 初期臨床医学体験

先輩VOICE **医師としての土台形成の契機となる実習**

笹尾 雷造　医学科１年

この実習では、1年生のうちから市中クリニックや附属病院の現場を体験できます。クリニックの実習では地域のかかりつけ医としてのあり方を学びます。附属病院では、医師と協働で医療業務を担う様々なコメディカル部門の現場を体験できます。単に医師になるための勉強だけでは見過ごしやすい、他部署の方々の具体的な仕事内容を知ることで、チーム医療について深く学べます。1年生という最初の段階で、より良い医療人に必要な姿勢について向き合うきっかけとなりました。今後医師となって働いていく上で重要な土台を形成するとても貴重な経験ができたと感じています。

先生VOICE **医療人としての第一歩**

阿波谷 敏英　教授　家庭医療学講座

この実習は、医師として必要な態度や心構えを身につけることを目的としています。一次心肺蘇生（BLS）実習の他、大学病院、市中のクリニック、福祉施設の現場に赴きます。実際の医療、福祉に触れることで、チーム医療の重要性、医師に必要な素養、地域社会での役割など大切なことを理解します。医学部に入学して大切な一歩を踏み出しましょう。

2 - 4 年生履修 統合医学コース

先生VOICE

個人学習とチーム討論を融合させた新しい学習法「TBL」で、能動的に学ぶ

藤田 博一　教授　医学教育創造センター

将来、医療現場で働き始めると、患者さんやご家族のみならず、さまざまな職種の人たちとコミュニケーションを取りながら診療を進めていきます。そのため、従来から行われている授業を聴いて学習を進めることも重要ですが、グループで議論しながら学習を進めることも重要です。医療現場で必要とされる医師のプロフェッショナリズム、認知力、臨床推論能力といった医師として必須の能力を獲得することを目指して、さまざまな授業形態を取りながら授業を進めていきます。能動的な学習姿勢を学び実践していくなかで、将来現場で活躍し続けることのできる医師をめざしてください。

5 - 6 年生履修 臨床実習

先輩VOICE **医師になる道のりの大きな一歩**

山田 悠貴　医学科５年

医学科５･６年生では、大学附属病院や高知県内の市中病院で実習を行っています。僕たちの代から４年生での共用試験が公的化されたことで、従来の診察や問診、手術の見学、担当患者さんのプレゼンテーションといった実習内容に加えて、指導医が監督の下、患者さんに対して医行為を行うことが法的に認められ、実践的な実習を行うことができており、４年生までに身につけてきた医学的な知識の理解をより深めることができています。実習中は日々悩みながらも、患者さんが抱える病気について深く考え、病気を治したいという患者さん一人ひとりの気持ちに寄り添うことで、理想の医師像に近づくことができると感じます。

先生VOICE **参加型臨床実習で即戦力となる医療人に**

瀬尾 智　教授　外科学講座

臨床実習は医学部教育の最終段階です。診療参加型の実習を通してこれまでに学んできた医学を医療に変換し、卒業後の即戦力となる医療人になることを目指してください。教員も全面的にサポートします。

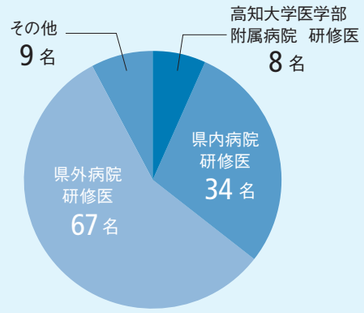
医学科 進路データ

卒業が認定され、医師国家試験に合格した後は、様々な進路選択が可能です。
※診療に従事しようとする医師は、大学病院または医師臨床研修病院で２年間以上の医師臨床研修が義務付けられています。
※地域枠の学生は、医師臨床研修は高知県内で行います。

医師国家試験合格状況（新卒者）

	令和２年（114回）	令和３年（115回）	令和４年（116回）	令和５年（117回）	令和６年（118回）
受験者	101 名	125 名	109 名	124 名	118 名
合格者	96 名	118 名	102 名	121 名	109 名
合格率	95.0%	94.4%	93.6%	97.6%	92.4%

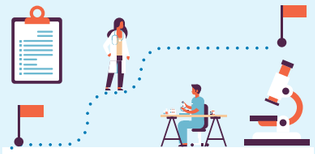
令和６年3月卒業者進路状況



主な研修先病院

■高知県内の病院／高知大学医学部附属病院、県立あき総合病院、高知医療センター、高知赤十字病院、国立病院機構高知病院、近森病院、幡多けんみん病院、細木病院

■高知県外の病院／大阪公立大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、岡山大学病院、九州大学病院、京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学附属病院、国際医療福祉大学病院、産業医科大学病院、自治医科大学附属さいたま医療センター、東京医科歯科大学病院、徳島大学医学部附属病院、名古屋市立大学病院、広島大学病院、藤田医科大学病院、和歌山県立医科大学附属病院、大阪市立総合医療センター、大阪南医療センター、北九州総合病院、北播磨総合医療センター、京都岡本記念病院、京都第二赤十字病院、倉敷中央病院、桑名市総合医療センター、神戸労災病院、越谷市立病院、埼玉石心会病院、十全総合病院、住友別子病院、日本赤十字社和歌山医療センター、姫路医療センター、松戸市立総合医療センター、松山病院、三豊総合病院、HITO病院、大阪市立総合医療センター、岡山市立市民病院、岡山ろうさい病院、新松戸中央総合病院、宝塚市立病院、武田総合病院、中国中央病院、東京北医療センター、豊橋市民病院、名古屋セントラル病院、奈良県総合医療センター、成田赤十字病院、西脇市立西脇病院、日本生命病院、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立はりま姫路総合医療センター



キャリアパスについては
P.31 をご覧下さい

医師国家試験のサポート体制

毎年２月に行われる医師国家試験の合格に向け、高知大学では様々な学生の支援を行っています。

SUPPORT 1 専用の学習室で、グループ学習

６年生になると、終日使用できる専用の学習室がグループごとに用意されます。国家試験は、独りではなく仲間とともに挑む“団体戦”。無線 LAN も完備された快適な環境で、互いに教え合い励まし合いながら勉強することで、学習効果も高まります。

SUPPORT 2 模擬試験を活用した指導と費用の支援

医師国家試験本番までの間に複数回受ける模擬試験の試験結果を、アドバイザー教員もチェックし、学習到達度の確認と学習指導にあたります。また、模擬試験の受験費用を一部助成しています。

SUPPORT 3 医学教育創造センターによるバックアップ

年々変化する医師国家試験の傾向に対応するため、アドバイザー教員に加え、医師国家試験に精通した医学教育創造センターがさらにバックアップ。最新の情報に基づいた個別の指導・相談に対応し、受験当日までサポートしていきます。

SUPPORT 4 国家試験対策委員も全面サポート

4、５年生で構成される国家試験対策委員が、６年生をサポートしています。対策委員は学内模擬試験の準備・実施を担うほか、医師国家試験当日に試験会場まで同行し、６年生が万全の体制で試験に臨めるようバックアップしています。

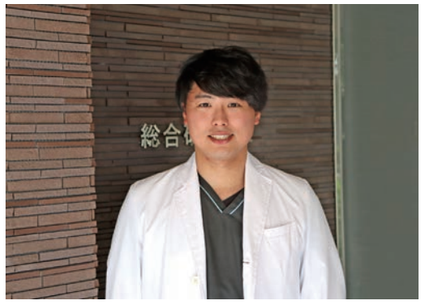
「教職員に対する満足度」（卒業予定者アンケートより）

IR DATA

2023 年度　★★★★☆　10.0 満点中 7.9
2022年度　★★★★☆　10.0 満点中 8.0
2021 年度　★★★☆☆　10.0 満点中 7.3

「教員と学生の距離が近い」「質問しやすい雰囲気がある」「丁寧に指導してくれる」など、教職員への満足度も高評価!

OB&OG Messages
Medical course
医学科 卒業生からのメッセージ



坂本 秀男　令和３年度卒業
高知大学医学部　腫瘍内科学講座

高知県のがん治療を支える！

私は徳島県出身で、高知大学医学部に地域枠で入学しました。高知に移り住んで9年目になりますが、年々高知愛が深くなっています。県外出身で高知大学入学を検討している方は、そのまま高知で就職することもお勧めします。

大学卒業後は高知大学医学部附属病院で初期研修を経た後に、高知大学医学部腫瘍内科学講座に所属しています。現在2人に1人が生涯のうちにがんに罹患すると言われており、その治療については年々重要性が増しています。腫瘍内科は薬物治療でがん患者さんに携わると同時に、多数の診療科や専門職のスタッフをまとめるがん治療のかじ取り役を担っています。私は、日々診療に携わりながら患者さん一人ひとりにあわせたがん治療を提供できることにやりがいを感じています。また並行して学会発表や論文作成、臨床研究に尽力することで、高知県のみならず国内外へがん治療を発信できる人材になることが私の目標です。

これからも患者第一のがん治療を心がけ、高知県のがん診療を支える一人として活躍していきます。将来高知県の医療を担うことに期待し、皆様の入学を心からお待ちしております。

自分なりの一歩一歩を

私は高知県で生まれ育ち、5年間の浪人期間を経て高知大学医学部に入学しました。

大学時代はダンス部に所属し、よさこい祭りに参加するなど、勉学、私生活ともに非常に充実した学生生活を送っていたと思います。

県内私立病院での初期研修を終え、現在は入学当初から憧れていた脳神経外科の専攻医として、元気に奔走する毎日を送っています。高知大学脳神経外科は若手教育に非常に力を入れてくださっており、私達若手は日々の診療、手術手技から国内外留学まで、様々な勉強の機会に恵まれています。私も入局1年目から、台湾で行われた手術解剖の研修コースに参加させていただき、大変勉強になりました。実臨床におけるスキルアップは勿論のこと、国際学会での発表も一つの目標に、英語の勉強も頑張ろうと思います。

“病気の人を治したいから医者になりたい。”当時 10 歳だった私が漠然と志した夢が、少しずつ輪郭を帯びて形になっていくような日々を過ごせていることを、とても幸せに思います。自分で選んだものを突き詰めていく事は、本当に楽しい。何をするにも反省はつきませんが、至らない私をいつも支えてくださる先生方、友人、家族に、心からの感謝を申し上げます。

大原 桃子　令和３年度卒業
高知大学医学部　脳神経外科学講座

医学科LIFE!

Enjoy Kochi medical school
医学科のとある先輩の１日

１年生２学期のある１日
服部 輝樹　医学科１年
バドミントン部、ソフトボール部

- 8:30　起床
- 10:00　登校
- 10:30　２限　学問基礎論

グループワークで視野が広がる！
グループワークではこれまでに自身が考えることができなかった意見を協働者から得られることが強み！ 互いに高めあうことができる機会がたくさんあり、また仲間の輪も広がります！

- 12:00　昼食
- 13:10　３～４限　EBM Ⅰ

医師になるための様々な学び！
この授業では将来医師として活動するために必要な統計を学びます。一見、数学は関係ないように思うかもしれませんが、将来必要な知識を多分野に渡って学ぶことができます！

- 15:30　みんなで雑談
- 16:00　勉強
- 18:00　部活動（ソフトボール）

文武両道！全力で楽しむ！
学業だけではせっかくの大学生もったいない！部活を通して先輩方など、人間の輪が広がります！みなさんとっても優しく、西医体優勝などの目標に向かって一丸で頑張ってます！

- 21:00　部活動（バドミントン）
- 1:00　帰宅
- 2:00　就寝

４年生２学期のある１日
小山 美南　医学科４年
陸上競技部

- 7:30　起床
- 8:40　登校
- 8:50　１限　中毒学
- 10:30　２限　血液病学

学生生活最後の座学！
３年生までは主に体の正常を学びますが、４年生からは体の異常をたくさん学びます。医学知識が増え、覚えることが多いですが、今までの知識が繋がっていくのが面白く、医師に近づいているなと日々実感します。

- 12:00　昼食
- 13:10　３限　医療安全学
- 14:50　４～５限　基本的診療技能実習

本気のお医者さんごっこ
OSCE に向けた練習です。学生同士で聴診器を当てたり、血圧を測ったり、模型を使って採血の練習をしたり、はじめは面と向かって話すことに少し緊張をしていましたが、練習の甲斐あって、スムースに診察ができるようになってきました。

- 16:30　OSCE 練習
- 17:00　部活動

部員をまとめ、西医体で優勝！
練習時間は、勉強から離れて仲間と良い汗を流します。部長として部員 40 人の大きな部活をまとめることは大変でしたが、西医体で優勝することができました。部活の先輩に勉強法を教えていただいたり、後輩や同期と資料を共有したり、縦のつながりをうまく生かしてみんなで試験も乗り越えています。

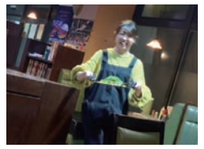
- 20:00　図書館で勉強
- 1:00　就寝

お休みの日は？

友達とワイワイ全力エンジョイ！
１年生は楽しむことが大切だと先輩に教わりました！ 車を持っていると、高知の隅から隅まで楽しみ放題！それだけでなく週末にサクッと県外に行けちゃうのも１年生の楽しみ方です！

お休みの日は？

たっすいがは、いかんきね！
居酒屋でアルバイトをしています。接客によりコミュニケーション能力が磨かれています。高知の方はあたたかく、面白い方が多いのでとても働きやすいです。高知の魅力をたくさん知れる良い機会です。



IR DATA
「医学科生の一日の平均勉強時間」（2024 年度調査）

１年生	1.3 時間
４年生	4.4 時間
６年生	5.9 時間
〈全学年平均〉	2.6 時間

次代のニーズに応えられる
革新力を備えた看護専門職

看護学科

Nursing course

看護学科では、４年間の教育課程の中で豊かな人間性と高い倫理観を身につけ、看護専門知識と技術を習得し、臨床現場や地域住民の生活の場に触れて看護実践能力を培っていきます。私たちは、病んだ人を優しくケアできる看護師、人々の健康生活向上の援助ができる保健師、児童生徒の健康増進に寄与できる養護教諭の養成を目指しています。

教育理念

看護学科は、豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点から捉え、人々の健康生活向上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

▶ 本学科では、このような人材を育成します

卒業認定、学位授与に関する方針（ディプロマ・ポリシー）

課題に対して

1.看護の基盤となる幅広い教養を身につけている。
2.看護に必要な基本的な知識を体系的に修得している。
3.人々の健康や生活でおこる様々な問題を看護の視点で捉えることができる。
4.看護の専門知識を用いて、問題解決に向けての解釈･判断ができる。

人に対して

1.対象者や場に応じた基本的な看護実践能力を身につけ、使うことができる。
2.個々の特性をつかみながら、チームを統合することができる。

自己に対して

1.人間・環境・健康・看護に関心を持ち、知的好奇心を高めることができる。
2.医療・保健・教育の進歩に対応できるよう、自律して学び続ける姿勢を身につけている。

統合・働きかけ

1.看護の目標を達成するために必要な資源を利用し、多職種と協働して活動することができる。
2.看護の対象となる人の状況･背景に応じて、看護実践が展開できる。
3.看護実践を通じて自己の看護観を形成することができる。

▶ 入学者として、このような学生を求めています

受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

看護学科は、「教養と専門知識を基盤に、人々のこころに寄り添う感性と高い社会正義感を持って、看護実践能力を用いて、人々の健康と生活を支えることができる看護専門職」を養成します。同時に、「社会に生じてくるさまざまな問題を看護の視点でとらえ、多職種と協働しながら課題の解決に向かうよう自ら学びつづけ、よりよい医療･看護を実現できる革新力を備えた人材」の養成を目指します。

知識・技能

1. 看護学・医学を学ぶために必要な高等学校卒業程度の知識があり、特に理科・社会・英語の基礎学力を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 筋道を立てて物事を考え、的確な判断ができる。
2. 自分の考えや思いをわかりやすく伝えることができる。

主体性・多様性・協働性

1. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる。
2. 自ら学び、挑戦することができる。
3. 相手の立場に敬意を払い、関心を持って他の人の話を聞くことができる。

関心・意欲

1. 人と触れ合うことが好きであり、人々の健康と生活を支える専門職を目指す意欲がある。

看護学科の学び 4年間の流れ

1年生から病院や地域での実習を行い、個別性や多様性のある対象者の理解を深めます。講義や演習ではグループワークを設け、チームでの課題解決を学びます。2、3年生では専門性の高い講義や演習、隣接する附属病院や地域で実習を行います。4年生では、学びを統合して看護を行う実習や、各コースの講義や実習があります。また、1年間を通して1つのテーマについて研究を行います。

実践の中で主体的に考えながら、看護を学ぶ

1年生 治療援助論

健康が障がいされた人々の健康回復に向けた基本となる治療援助技術を学ぶ科目です。薬物療法の単元では、薬物療法の意義を理解し、注射や点滴の実際を演習で行います。演習では十分な説明と確実な手技、さらに体位の工夫など効果的な方法を事例に基づいて考え、看護師の役割と責任について考えます。

1
- 看護学の基礎学修
- 人間力の育成

養護教諭1種免許状取得プログラム

- 教養科目
- 初年次科目

2
- 専門知識の修得
- 専門技術の修得

■ 専門科目

成人／小児／母性／高齢者／精神／在宅／他

■ コース選択

※公衆衛生看護学コースを選択するためには、3年生までに関連科目の修得が必要です。

ロールプレイングなどを通じて、より専門的な気づきを得る

2年生 医療安全論

ヒューマンエラーの特徴やその対策について理解し、医療の場における安全について組織的な取り組みの基本を学びます。これまでに学修した授業や実習を通して医療事故につながりやすい状況を振り返り、発生要因とその対策についてグループワークで話し合って検討します。

3
- なりたい将来像に応じて、コースを選択
- 臨床での実践能力開発
- 専門技術の学修

看護学コース

公衆衛生看護学コース

4
- これまでの学びの統合
- 卒業研究

看護師国家試験

保健師国家試験

※看護師国家試験受験資格は全員が取得できます。

■ 卒業研究

■ 統合看護実習

3～4年生では、自分の将来に向けて、より専門性を高める2つのコース、選択プログラムが準備されています。

看護学コース

看護学を学び、看護師免許取得をめざすコースです。新生児から高齢者というあらゆる人の生活と健康状況を理解し、人々が住み慣れた場所でその人らしく健康で幸福な暮らしができるよう理論と実践を探求する学問です。

公衆衛生看護学コース

公衆衛生看護学をはじめとする多数の科目を履修して、保健師免許の取得をめざすコースです。このコースでは、全てのライフステージの人々が健康保持・増進できるよう、地域・職域・学校等における保健師活動について学びます。

養護教諭1種免許状取得プログラム

学校教育及び児童生徒の理解を基盤とした健康課題の知識と技術を学修し、保健管理・保健指導や保健室経営の実際を学びます。1年生から関連科目を計画的に修得します。

臨地実習

地域や病院など多様な現場に入って学ぶ実習を1年生から段階的に配置。
看護専門職になるという意識と実践能力を早期から養います。

地域福祉の拠点に出向いて学ぶ

1年生 コミュニティ共生実習

子どもから高齢者まで年齢や障害の有無に関わらず誰もが必要なサービスを受けられる高知型地域共生社会の拠点「あったかふれあいセンター」で行います。この実習を通して人々の暮らしや多様性、共生型支援を学びます。

高齢者施設や保育施設を訪問して学ぶ

2年生 高齢者看護学実習Ⅰ 健やか親子実習

宅老所などで実習を行い、レクリエーションや運動などを通して高齢者との関わり方を学びます。保育所（園）実習では、子どもの成長・発達の実際や関わり方、親の子育てへの思いや現状を学びます。

半年間かけて、様々な領域の看護を体験する

3年生 領域別看護学実習

隣接する附属病院で約6ヶ月間、「成人」「高齢者」「精神」「小児」「母性」の各領域で実習を行い、また「在宅」では地域の訪問看護ステーションで、授業で得た知識を実践しながら学びにつなげます。卒業生の先輩看護師がたくさんいる環境の中、学生も医療チームの一員として温かく迎えられ、スタッフの方と一緒に、患者さんやご家族のことを考えながら看護を学んでいくことができます。病棟での実習を通して得た気づきや学びは、4年生でさらに、コース別実習および選択プログラムや卒業研究で深めていきます。

看護学コース

看護の対象となるあらゆる個人、集団、地域に対して、専門的な知識と技術や倫理的判断を用いて、看護実践を行う能力を養います。基盤となる看護理論や看護倫理、看護技術の科目に加えて、急速に変化する社会を見据えた、国際看護や災害看護を学びます。

先輩VOICE **患者さんに合わせた看護の提供のために**

錦織 美薫　看護学科４年

４年間を通して、患者さんの疾患や治療、性格や価値観、家族を含めたこれまでの生活背景を捉えるなど、一つ一つの事柄を繋ぎ合わせて多面的に患者さんを理解することの重要性を学びました。コミュニケーションを通して、患者さんやご家族に寄り添えるような看護師になりたいです。

先生VOICE **様々な看護の場面の体験は、看護の実践力となる**

佐藤 美樹　成人看護学 准教授

看護は実践の科学です。学内演習や附属病院をはじめ様々な場所での実習を通して、多様な年代や療養環境の変化に応じた看護を実践する能力や倫理観、相手を尊重する人間力を養い、人の成長を支援します。

公衆衛生看護学コース

保健師は企業や学校等でも活躍していますが、大半は公務員として都道府県や市区町村で保健行政を担っています。行政においては、保健所では感染症対策や難病対策など、保健センターでは乳幼児健診やがん検診などに携わります。どこで活動していても、保健師は人々が安心して生活できることを目指しています。

先輩VOICE **地域や暮らしの支えとなる保健師を目指して**

山本 佳枝　看護学科４年

保健師の実習では、自分の足で地域を回ることで、土地柄や暮らし方を肌で感じました。その中で地域を支える保健師という仕事に強く憧れを持ちました。人との関わりを大切にし、人を通してその家族や地域全体を見る視点を持ち、暮らしの支えとなる保健師になりたいです。

先生VOICE **“お互い様”の精神で住民と協働する保健師**

杉本 加代　地域看護学 准教授

私は看護師・助産師・保健師を経験した結果、住民に対する縁の下の力持ちのような存在である行政保健師に最もやりがいを感じています。保健師は、住民と“お互い様”の精神で協働し、予防を重視しながら住民の健康と生活をまもります。

公衆衛生看護実習（3歳5ヶ月健診の現場で学ぶ）

養護教諭1種免許状取得プログラム

養護教諭に必要な専門的知識・技能はもちろん、教員に必要な生命の尊厳に基づく倫理観や、教育者としての人間性を備えた養護教諭を育成します。

養護実習

先輩VOICE **あらゆる視点から子どもたちを捉えられる養護教諭に**

幾井 聡美　看護学科４年

４年間の講義や実習を通して、対象者をあらゆる視点から捉え、情報を分析・統合していくことの大切さを学びました。看護学科での学びや経験を生かして、子どもたちとの対話を大切にしながら、身体の健康だけではなく、心の健康にも目を向け、様々な悩みに真摯に向き合っていきたいと思います。

先生VOICE **夢への一歩、養護教諭として活躍しよう**

齋藤 美和　地域看護学 講師

看護学の勉強と養護教諭資格取得の両立は簡単なことではありません。でも今、看護師資格を持った養護教諭が求められています。養護教諭になりたいあなたを待っています。

看護学科 進路データ

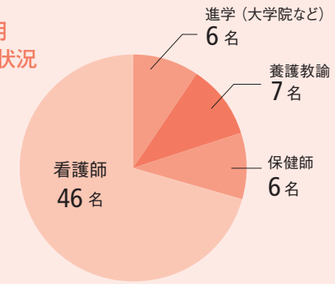
卒業が認定されると、「看護師国家試験受験資格」が得られます。
また、所定科目単位の修得により「保健師国家試験受験資格」、または「養護教諭第一種免許状」の資格を得ることができます。

※保健師国家試験に合格した者は、本人の申請により「第一種衛生管理者免許状」が取得できます。
※保健師国家試験に合格した者で、所定科目単位を修得している場合は、本人の申請により「養護教諭第二種免許状」が取得できます。
※高知大学大学院実践助産学課程に進学・修了すると、「助産師国家試験受験資格」を得ることができます。

国家試験合格状況（新卒者）

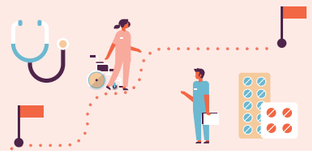
	令和３年		令和４年		令和５年		令和６年	
	保健師	看護師	保健師	看護師	保健師	看護師	保健師	看護師
受験者	26 名	58 名	25 名	55 名	25 名	61 名	22 名	55 名
合格者	26 名	58 名	25 名	55 名	25 名	61 名	22 名	55 名
合格率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

令和６年3月 卒業者進路状況



卒業後の進路先（近年の主な就職先・進学先）

【看護師】■大学病院／高知大学医学部附属病院、愛媛大学医学部附属病院、大阪大学医学部附属病院、大阪公立大学医学部附属病院、神戸大学医学部附属病院、名古屋大学医学部附属病院、岡山大学病院、川崎医科大学附属病院
■一般病院／高知医療センター、高知県立あき総合病院、高知県立幡多けんみん病院、細木病院、HITO 病院、SUBARU 健康保険組合太田記念病院、愛媛県立中央病院、大阪急性期・総合医療センター、神奈川県立こども医療センター、倉敷中央病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立医療センター中央市民病院、公立豊岡病院組合立豊岡病院、国立がん研究センター中央病院、国立病院機構四国がんセンター、笠岡第一病院、静岡県立こども病院、住友別子病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、兵庫県立こども病院、兵庫県立西宮病院、淀川キリスト教病院
【保健師（臨時含む）】高知県、兵庫県、山口県、愛媛県、徳島県、大阪市、四国中央市、須崎市、松山市、南国市、香南市、香美市、愛南町、梼原町
【養護教諭（非常勤、臨時講師を含む）】徳島県、広島県、大分県、沖縄市、宜野湾市、那賀町、三好市
【大学院等進学先】高知大学大学院（助産）、日本赤十字看護大学大学院（助産）、香川大学大学院看護学専攻、名古屋医専保健師学科



キャリアパスについては
P.31 をご覧下さい

国家試験のサポート体制

毎年２月に行われる看護師・保健師国家試験の合格に向け、様々な学習支援を行っています。

SUPPORT 1　きめ細かい指導で学習を支援

受験を支援する委員会を中心に、全教員が学習内容や学習方法を学生に指導。習熟度に応じたきめ細やかなフォローを行います。

SUPPORT 2　いつでも勉強・質問できる環境

主体的に勉強を進めていく中でわからないことがあれば、教員ができる限り疑問や質問に答え、学生のそばで合格を支えます。

進路選択・就職のサポート体制

看護学科では取得を目指す資格によって、履修計画や就職に向けた行動計画が異なります。そこで、個々の将来設計に応じたキャリア形成支援、就職支援をサポートしています。

SUPPORT 1　進路ガイダンス等の実施

進路に関する情報提供や、進路ガイダンスを行います。

SUPPORT 2　担当教員による個別の進路指導

学生一人ひとりにつくアドバイザー教員や進路担当教員が、個々の希望進路に応じて具体的なアドバイスや支援を行います。

SUPPORT 3　就職・進学した先輩からのアドバイス

大学院進学者、看護師、保健師、養護教諭、助産師として働くOB・OG から話を聞き、職業理解を深める機会を設けています。

SUPPORT 4　高知大学医学部附属病院との連携

1年生の早期から附属病院看護部職員と交流の機会を設けています。毎年、多くの卒業生が就職しています。

OB&OG Messages
Nursing course

看護学科 卒業生からのメッセージ

看護師

澁田 真央　令和２年度卒業
高知大学医学部附属病院 第二病棟５階

成長させてくれた大学生活

高校1年生の頃、進路担当の先生の勧めで高知大学医学部看護学科による出前講義を受講しました。それまで何となく生活していた私でしたが、その日の出会いによって大きく変わり、看護師を目指すきっかけとなりました。
看護学科に入学後は、附属病院がキャンパスの敷地内にあることで臨地実習がしやすく、また地域の方たちと交流するボランティアにも参加するなど、座学だけでは体験できない学びが私を成長させてくれました。
卒業後は附属病院で看護師として勤務しており、回復していく患者さんとのかかわりを通して看護のやりがいを感じつつ、多忙な日々を過ごしています。
入学されてからの４年間はあっという間に流れていきます。めいっぱい遊んで大学生活を満喫しながら、大学生のときにしかできない体験によって多くの学びを得てください。

保健師

山本 真里恵　令和４年度卒業
高知県中央西福祉保健所

大学生活は将来に向けての第一歩

私は、もともと医療に興味があり、その中でも特に疾病の予防というところに自分が関わっていきたいと思い保健師を目指して高知大学に入学しました。
大学では、実習で生の声を聞いて、自分の生活習慣に関心を持つことは難しいと気づかされ、保健師になって健康に対する意識と行動の変容に介入したいと将来を考える機会になりました。
大学生活を思い返すとテストに実習に部活にと忙しい毎日でしたが、励まし合いながらどんな困難にも一緒に立ち向かっていく仲間や、いつも親身になって相談にのってくださる先生方に出会い、この４年間を乗り越えられたことは私の人生の中で大きな成長になったと思います。
時間は有限です。意味ある時間になるよう日々学び、たくさん経験をして素敵な大学生活を過ごしてください。

養護教諭

餌取 春香　令和３年度卒業
高知県立山田高等学校 定時制

大学での出会いと学び

私にとって、学校の保健室はとても安心できる場所でした。頑張る子どもたちを支えられるような養護教諭を目指し、大学に入学しました。
講義や実習を通して、自分の中の物事の捉え方が大きく変化したと感じています。人と関わること、人を支えることは決して簡単ではありませんが、そのことに全力を注ぐ方々から多くのことを学ばせていただきました。
現在、私自身も周りの方々に支えていただきながら、養護教諭として働くことができています。その中で、まだまだ自分に足りないと思うこと、勉強したいと思うことは増え続けています。感謝を忘れず、これからも学び続けていきたいです。
大学生活では学べることや経験できることがたくさんあります。４年間という短い時間ですが、精一杯楽しみながら、目標に向かって頑張ってください。

看護学科 LIFE!

Enjoy Kochi medical school
看護学科のとある先輩の１日

１年生２学期のある１日

結城 心優　看護学科１年

- 6:00 起床
- 8:00 登校
- 8:50 １～２限　治療援助論

実践するからこそ深まる学び
実際の物品を使って注射や採血などの方法を学ぶ、実践的な授業です。３人グループで看護師側、患者側をそれぞれ体験します。学生間で意見交換を行いながら演習に取り組むことでさらに理解を深めることができます。

- 12:00 昼食
- 13:10 ３限　英会話 Ⅱ

楽しく英語力 UP！
日常生活に関するテーマに沿ってグループで交流や発表を行うことで、楽しく英語を学ぶことができます。将来、看護師として活躍する上で必要な英語でのコミュニケーション力を身につけられるように積極的に取り組んでいます。

- 14:50 ４限　スポーツ科学講義
- 16:20 学校で勉強
- 18:00 アルバイト
- 22:00 帰宅
- 23:00 勉強
- 0:30 就寝

お休みの日は？

高知の魅力、再発見！
休日は、友人と高知県内のカフェや絶景スポットを巡っています。
おいしいスイーツや写真映えする景色にたくさん出会えるはずです。ぜひいろいろな場所に行ってみて下さい！

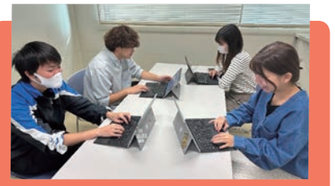
４年生１学期のある１日

竹原 瞳　看護学科４年
サッカー部マネジャー

- 7:30 起床
- 8:30 登校
- 8:50 １～２限　国際看護活動論（演）

グループで気になる国の医療を探求！
国際看護活動論（演）は、自分が気になる国について同じ興味を持った仲間と調べ、どのような看護ができるか考えること、他のグループと比べることで地域差をあらためて実感することで、教科書だけでなくより深い学びをえることができます。

- 12:00 昼食
- 13:10 医療安全論 Ⅱ（演）
- 15:00 卒業論文の作成



４年間の学びの集大成
卒業論文では、自分達の関心のある分野やテーマについて研究を行います。就活やコースの兼ね合いもあり、各々の時間を調整し助け合いながら行ってきた研究の結果が導き出せたときのことは今でも覚えています。

- 16:00 勉強
- 18:00 アルバイト
- 22:30 帰宅
- 0:00 就寝

お休みの日は？

高知は写真スポットの宝庫！
高知は自然がいっぱいで、春夏秋冬を通して様々な景色を楽しむことができます。誰かと一緒に見に行くことや、カメラ持って写真を撮りに行くことは大学生活をとても豊かなものにしてくれます！

IR DATA
「看護学科生の一日の平均勉強時間」（2024年度調査）
１年生 ▶ 2.1 時間
４年生 ▶ 2.3 時間
〈全学年平均〉 1.9 時間

地域の最前線で学ぶ

黒潮医療人養成プロジェクト

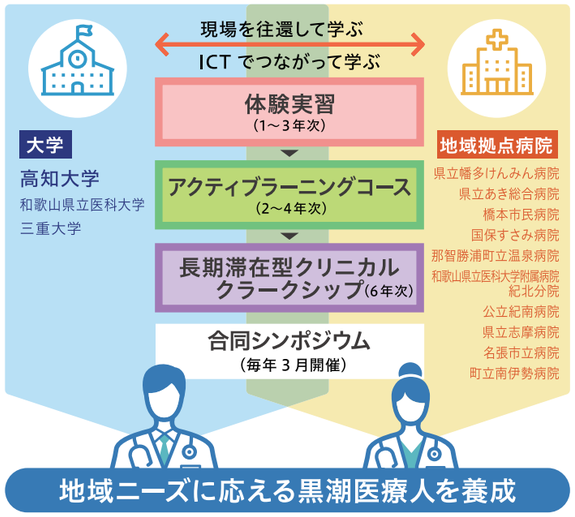
黒潮医療人養成プロジェクト

■ プロジェクトWEBサイト　https://kuroshio-pjt.com/
■ Instagram アカウント　kuroshio_pj

WEB サイト　Instagram

高知・和歌山・三重が協働！ 地域の拠点病院と連携し、実践的に学ぶ

超高齢化社会の到来や疾病構造の変化など、大きな転換点を迎えた日本の医療。その最前線は、患者さんのいちばん近くにある「地域医療」です。そこで、遠隔地の医療確保や災害医療など共通課題を持つ高知、和歌山、三重の３大学が協働し、展開しているのが本プログラムです。



1 年次に応じた３段階のプログラム

「体験実習」、「アクティブラーニングコース」、「長期滞在型クリニカルクラークシップ」で段階的に学びを深めます。

2 地域ニーズの高い総合的な分野を深く学ぶ

アクティブラーニングコースでは以下の３コースを開設し、6 分野を学びます。
① 地域総合診療コース（総合診療、在宅医療）
② 災害救急・感染症コース（救急医療、災害医療、感染症対策）
③ 医療 DX コース（遠隔医療）

3 将来のキャリアイメージ

連携する地域拠点病院はいずれも卒業医師が多数勤務しています。先輩からの指導により、自分の将来像が見えてきます。

4 ３大学間で学びを共有！

e- ラーニングの共同開発やシンポジウム開催で、教員・学生が相互交流。質の高い教育を実現します。

STEP 1 体験実習（1～3年次）

低学年から地域拠点病院や地域に赴き、救急受診、入退院支援、在宅医療など現場の医療を体験しながら、地域ニーズへの理解を深めます。また、各病院に在籍する地域枠卒業医師（臨床研修医、専攻医）と学生がペアとなりマンツーマンで直接指導を受けることで、将来の医師像をリアルにイメージします。

POINT
低学年から地域医療機関で臨床の現場を体験し、求められる医師像を理解する

〈 学生の声 〉

医師としての将来がイメージできた！

山﨑 陽花　医学科２年

私が実習を行ったあき総合病院は、職員の方々の仲が良く、そういった普段からの関係づくりによってさまざまな診療科の医師間・多職種間の連携が強くなっていくのだと感じました。3日目に参加したカンファレンスは科の垣根をこえたもので、他科の症例にも幅広く触れることができ、貴重な学びとなりました。聴診も実際にやると難しく、座学だけでなく臨床に用いる技術をしっかりと学ぶことが大切だと思いました。今回の実習全体を通して、大学で今学んでいることが将来に直結して来るとあらためて感じることができ、将来の姿をよりイメージできるようになりました。また、病院ごとに特色があることもわかったので、今後は自分なりに地域医療のあり方について学んでいきたいと思います。

STEP 2 アクティブラーニングコース（2～4年次）

地域拠点病院と連携した体験重視のアクティブラーニングコースを高知大学では３コース開設。より実践的に地域医療を学ぶと同時に、学会発表や論文執筆などを通じて研究マインドを醸成します。

● 地域総合診療コース　● 災害救急・感染症コース　● 医療DXコース

POINT
複数年次に渡って研究班に所属し、地域の施設等と連携しながら学びを深める

〈 学生の声 〉

能登半島地震への医療支援から学ぶ

山﨑 直樹　医学科２年　〈災害救急・感染症コース〉

兵庫県災害医療センターや三重大学病院などにおける実習では、他大学の先生や学生と交流しながら高知県とは違った災害医療体制について知見を深めることができました。特に、三重大学の岸和田先生からお聞きした能登半島地震への医療支援についてのお話では、災害医療支援チームには DMAT だけでなく、栄養士・管理栄養士で構成された JDA-DAT など、さまざまなチームがあることを初めて知りました。また、DMAT の役割として、現地での直接的な救助活動に限らずマネジメントも大切であることを学びました。さらに、先生方からの講演だけでなく、学生同士の学び合いもあり、有意義な実習となりました。他大学の医療支援や、他の学生の同様の研究などについても興味が湧いてきています。

STEP 3 長期滞在型クリニカルクラークシップ（6年次）

６年間の集大成として、地域拠点病院において統合的かつ長期間のクリニカルクラークシップ（LIC ;Longitudinal Integrated Clerkship）を実施。大学病院のように診療科別の理解ではなく、外来、入院、在宅など継続的に関わる実践的な内容とし、さらに大学相互に学生を受け入れることで、多様な学びを提供します。

POINT
４～８週間の実習期間で、地域ニーズに応えられる総合的な臨床能力を修得する

〈 学生の声 〉

在宅医療のよさをあらためて認識

松井 研人　医学科６年〈那智勝浦町立温泉病院で LIC〉

私は地域枠で入学しているため、高知県以外の土地の医療に触れる機会は貴重だと思い、和歌山での LIC に応募しました。実習では、訪問看護に同行したことが強く印象に残っています。患者さんはご高齢の方で、「好きに診ていいから、ぜひ私からたくさん学んで」と言ってくださり、若い世代に何かを残せることを望んでおられるように感じました。この方を通して、患者さんの安心できる環境で負担を減らしながら医療を提供できるという在宅医療の利点をあらためて実感することができました。また、先生方や地域住民の皆さんと会話する中で高知県と和歌山県の共通点や違いついて考えることができ、自分の将来像がより明確になりました。長期間地域にとどまるからこそできた体験だったと思います。

教育プログラムの質保証

IRで学びの質を向上

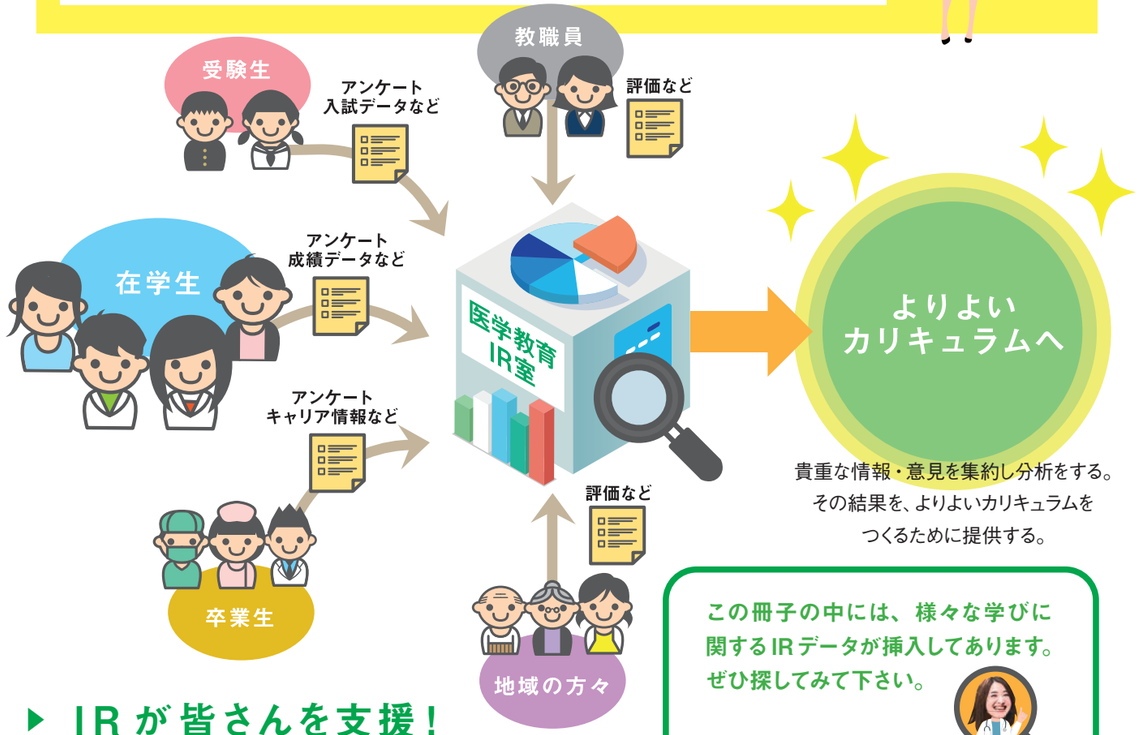
医学部医学科では、世界医学教育連盟のグローバルスタンダードに基づく医学教育分野別評価に対応したカリキュラム改革が進んでいます。その鍵となるのが、IR です。収集・分析したデータをエビデンスとして、教育の質の担保と向上を目指しています。

高知大学 医学教育 IR 室のキャッチフレーズ

“ 愛ある あいあ〜る ”(IR)

IR は、Institutional Research の略で、直訳すると企業研究や組織研究です。多くの企業は IR 部門を持ち、会社の業績やコストのデータを分析して経営方針に反映させています。この大学版が「教学 IR」です。教学 IR は教育に関係するあらゆるデータを集積・分析し、主に教育カリキュラム（何年生の時にどんな科目を学ぶかなど）の改善の指針となる情報を大学・学部に提供しています。

データの中でも定期的に行われる各種アンケートは、学生の立場から見た大学・学部の特長、あるいは改善点を把握するために特に重要なもので、その結果は次年度以降のカリキュラム改善などに反映されます。つまり、授業や実習を受けてアンケートに答えることは、言わば “後輩への愛”。皆さんが高知大学医学部のことを知っていく中で、これはいいなと思う授業や学びの環境を見つけたなら、それは 卒業生や先輩から皆さんへの愛 だと言えるでしょう。



貴重な情報・意見を集約し分析をする。
その結果を、よりよいカリキュラムを
つくるために提供する。

▶ IR が皆さんを支援！

高知大学には全学の組織として「IR・評価機構」や「学び創造センター」があり、IR 部門としての役割を担っています。また医学科では「医学教育 IR 室」が医学教育カリキュラムに特化したデータの集積・分析を行い、教育効果の検証やカリキュラムの改善などに活かされ、学生のコンピテンシー※獲得を支援しています。

※卒業時に修得しておくべき臨床能力

この冊子の中には、様々な学びに関するIRデータが挿入してあります。ぜひ探してみて下さい。

このアイコンが目印です

IR DATA

高知大学 医学教育IR 室のページ

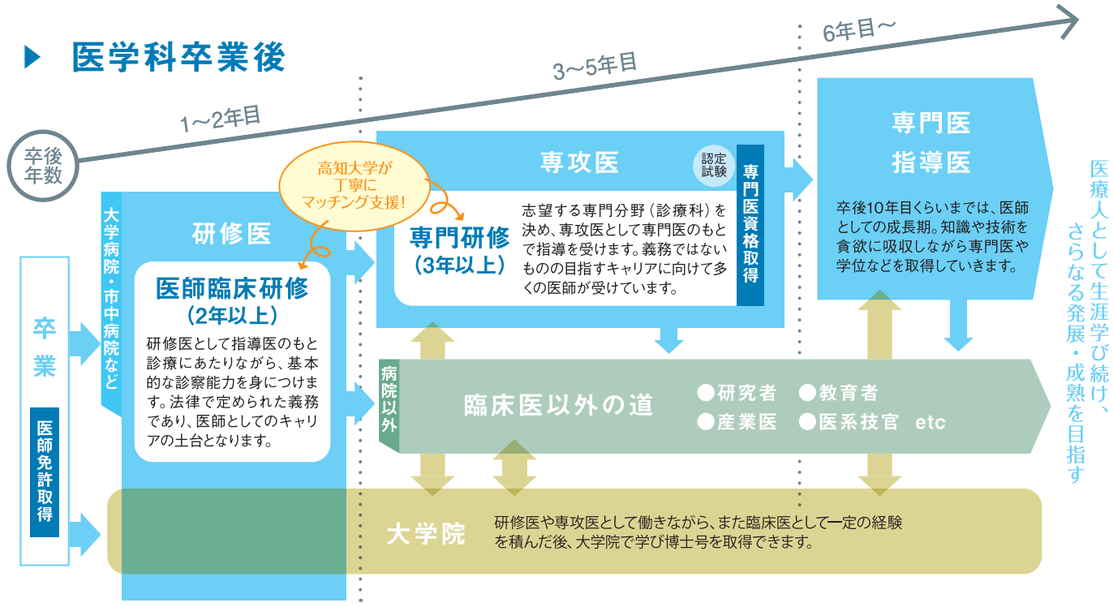
http://www.kochi-u.ac.jp/kms/sotu5/ir/index.html

大学卒業後の進路

医療人のキャリアパス

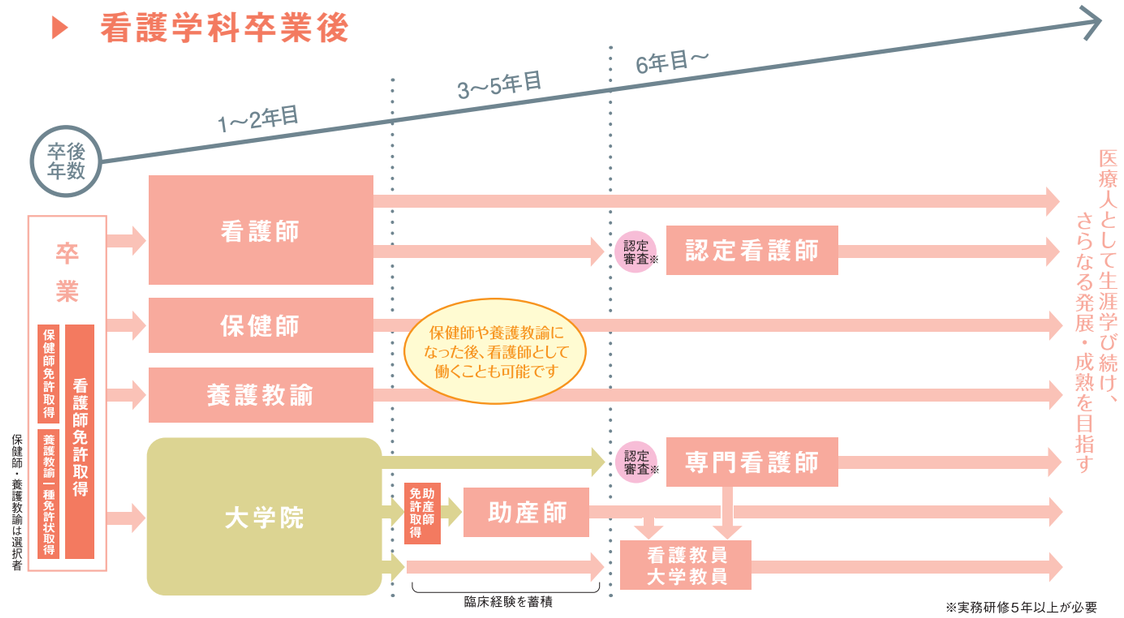
国家試験に合格し大学を卒業した後、皆さんの医療人としての実質的なキャリアが始まりますが、その道筋は一つではなく各々が抱く志や目指す将来像によって様々な選択肢があります。先を見据え、自分自身のキャリアパスを進めていってください。

▶ 医学科卒業後



▶ 具体的なキャリア形成についてはこちらをご覧ください
「高知地域医療支援センター」 https://cmsc-kochi.jp/ymdp/

▶ 看護学科卒業後



※実務研修5年以上が必要

海外留学・国際交流

高知大学では、海外の89大学※と交流に関する協定を締結し、教育や研究において活発な交流を行っています。また、医学部生の海外派遣制度として、医学科学生はハワイ大学へ、看護学科学生は台湾大学へ短期留学できる制度があります。

※令和6年5月1日現在のデータ。学部間交流28校を含む。

ハワイ

台湾

医学科の取り組み

ハワイ大学での医学部臨床実習

ハワイ大学やKuakini Medical Center（クアキニ病院：ハワイ大学の臨床実習病院）で4週間の臨床実習を経験します。現地医師の指導のもと、はじめに米国式身体診察の研修を受け、その後、17日間の内科病棟実習、次に8日間の家庭医療実習プログラムに参加します。病棟実習では、数多くの症例を経験するとともに、日常的に組み込まれている教育講義を通じて学びます。家庭医療実習では外来診療に加え往診にも同行するなど、異文化が混在するハワイで、医療チームの一員として実践的教育を受けることができる充実したプログラムです。

主なスケジュール（令和5年度の場合）

① 約3週間
Kuakini Medica Center 内科病棟実習（研修医のチーム診療の班の一つに配属）
② 約1週間
Dr. Jinichi Tokeshi（渡慶次仁一先生）の Family Clinic での実習

ハワイ大学 CancerCenter

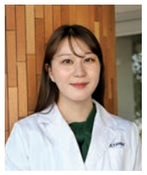
ハワイ大学について

ハワイ大学は、1907年に創立されたハワイ州を支える高等教育複合キャンパス・システムです。88の領域におよぶ学部課程、87の修士課程、53の博士課程および法学・薬学の専門博士課程を持ち、多くの卒業生を輩出しています。医学部はオアフ島にキャンパスがあり、John A.Burns School of Medicine（JABSOM）と呼ばれ、日本、韓国、中国、タイなどから毎年、医学生と医師の研修を受け入れています。

ハワイ医学教育プログラム（HMEP）について

本学医学部では医学教育のグローバル化を促進するため、米国医師免許試験（USMLE）に合格する実力をつける教育を目指し、平成29年度からHMEPをスタートさせました。
希望者はHMEPメンバーに登録し、国際標準教育の授業をWeb上で受講することができます。5、6年次には、日本で実施しているHMEP クリニカルクラークシップ（アメリカ式臨床実習）に参加するチャンスもあります（参加者は学内選抜します）。

海外の学び体験記



田中 瑛美子
医学科6年

【実習期間】2024年6月3日～28日

ハワイ大学臨床実習の魅力

2024年6月、ハワイ大学臨床実習に参加させていただきました。海外の医療現場に加わるという貴重な経験をさせていただき、実習のサポートに携わって下さった方々には心から感謝しています。そしてこの海外実習に興味を持っている皆さんに、私が特に魅力に感じた3点を紹介します。
一つ目は臨床力と英語力が鍛えられた点です。Family Medicineの実習では外来患者さんの問診を行い、内科病棟実習では担当患者さんの入院から退院まで毎日カルテをチェックして診察をし、治療方針を考えて上級医にプレゼンしました。自分の力不足に悔しく情けなくなる日もありましたが、ひとより時間がかかる分、朝は誰よりも早くから病院に出向いていました。最後の週には臨床や医学英語、プレゼンの力が格段にレベルアップしたと感じました。日本では出会えないような症例を経験できたことも有益でした。二つ目は理想的なチーム医療です。内科チームはupper resident、intern、JABSOMの学生、私を含むobserverで構成されました。JABSOM生には学生という甘えはなく患者さんのケアに一医師として真摯に取り組んでおり、その姿に感銘を受けました。メンバー同士が遠慮なく意見し合える環境で、チームで患者さんの最善に向けて尽力します。私のことも一医療者として扱ってくれたため責任感が自然と備わり、今後の初期研修を先取りした気分でした。三つ目は共に参加した他大学の医学生の存在です。皆とても優秀でバックグラウンドも様々で大変刺激になりました。実習での問題点や疑問点を皆で議論したり、教えあったりして有意義な時間を過ごし、良い思い出となりました。
視野を広げたい方、自身の現状を把握して成長したい方はぜひチャレンジしてみてください。私はこの有意義な体験の機会を得られたことへの感謝の気持ちを忘れず、充実したハワイでの経験を将来に生かしていきたいと考えています。

看護学科の取り組み

台湾大学との相互交流

看護学科では、国立台湾大学看護学科において、1週間の海外短期留学を実施しています。留学期間中は、現地の学生とともに講義や実習に参加し、施設見学や学生間交流を持つことを通じて台湾の看護学教育や文化に触れることができます。
看護基礎学教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。
「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩になるはずです。

主なスケジュール（令和6年3月の場合）

1日目	・台湾到着
2日目	・オリエンテーション ・台湾大学看護学舎訪問 ・ウェルカムパーティ ・看護実習（基礎看護）
3日目	・看護部長へのあいさつ ・台湾大学博物館訪問 ・台湾大学図書館訪問 ・プレゼンテーション ・観光（寧夏夜市）
4日目	・小児病院訪問 ・文化視察（国立中正紀念堂・大稲埕）
5日目	・看護実習（泌尿器科） ・台湾大学病院国立がんセンター訪問
6日目	・看護実習（緩和ケア病棟） ・報告会・認定式
7日目	・帰国

台湾大学病院

台湾大学について

国立台湾大学は、1945年に設立された台湾の最高学府で、1928年日本統治時代に設置された台北帝国大学を前身としています。11の学部と54の学科を擁し、学生数は3万人を越え、全島に分布するキャンパスなどの敷地は、台湾の総面積の約百分の一に相当します。医学部と附属病院は、台北市中心部のキャンパスにあります。台湾大学は世界500以上の大学と学術交流を行っており、世界中から優秀な学生が集まっています。

国際交流レポート

台湾大学より、看護学生を受入れ

国立台湾大学の学生6名を受け入れ、1週間、看護学科の教員が分担して、本学の特徴を活かした多彩な看護学実習を展開しました。
内容は、附属病院における成人急性期・精神・小児看護の実習、診療所や宅老所における地域高齢者看護の実習のほか、機械メーカーの株式会社垣内での産業看護の実習などで、看護師から保健師の役割まで幅広い体験を提供することができました。学生たちはとても活発に質問をし、実習先で高評価をいただいています。また、がんプロセミナーでは、台湾におけるがん医療の現状が紹介され、多くの知見を得ることができました。

台湾大学への留学準備（英語勉強会）

2024年3月に、1～3年生から1名ずつ台湾大学に留学しました。しかし、留学前は留学経験のある先輩もおらず、学生たちは希望とともに不安もあったようです。
そこで、低学年でまだ看護学の学習が十分でない状況でもできるだけ活発なコミュニケーションができるよう、教員や留学生が主導して専門用語も交えた英会話のトレーニングを毎週行いました。
この地道な準備と、1月の台湾大学からの学生受入れ時の交流で、学生たちの不安もほぼ払拭され、有意義な留学となったようです。

医学部の１年間

医学部では、一年を通じて様々な行事や楽しいイベントが行われています。

医学科 新入生オリエンテーション

看護学科 新入生オリエンテーション

オープンキャンパス（看護学科）

4 April
- 入学式
- 新入生・在学生オリエンテーション
- 授業開始
- 健康診断
- 新入生歓迎イベント

5 May

6 June
- 入学者選抜要項発表

7 July
- 学士入学試験（1次選抜）［医］

8 August
- 夏季休業
- オープンキャンパス
- 西日本医科学生総合体育大会、西日本コメディカル体育大会
- 学士入学試験（2次選抜）［医］
- 3年次編入学試験［看］

9 September
- Student Nurse 認定証授与式
- 総合型選抜Ⅰ（1次選抜）［医］

10 October
- 創立記念日
- 南風祭（大学祭）
- 合同慰霊祭

11 November
- 総合型選抜Ⅰ（2次選抜）［医］
- 学校推薦型選抜Ⅰ［看］
- リーダーシップセミナー

12 December
- 学校推薦型選抜Ⅱ（地域枠）［医］
- 冬季休業

1 January
- 冬季休業
- 大学入学共通テスト

2 February
- 医師国家試験
- 看護師国家試験
- 保健師国家試験
- 白衣授与式
- 一般選抜（前期日程）［医・看］

3 March
- 授業終了
- 学年末休業
- 一般選抜（後期日程）［看］
- 卒業式

Student Nurse 認定証授与式（看護学科）

白衣授与式（医学科）

Pick UP!

キャンパスライフをのぞいてみよう！

オープンキャンパス体験動画

令和５年度の医学部オープンキャンパスを現役医学生が体験！
その様子を YouTube で公開しています。
ぜひご覧ください！

Youtube 高知大学公式入試チャンネル

↑ 医学生 YouTuber ソタ（右）＆マーシー（左）による体験動画はこちら！

注目の学生活動

本気で遊び、本気で学ぶ！年に一度の医学部のお祭り！

大学祭「南風祭（みなかぜさい）」

令和６年度の南風祭は、テーマ「コロナ禍以前の南風祭の姿を取り戻す」を掲げ、かつてのにぎわいを再現することを目指して開催されました。部活動によるステージでのパフォーマンスや５年ぶりに復活した模擬店で、２日間を通して多くの来場者が楽しむ姿が印象的でした。感染症への配慮が求められる中でも、多くの方に安心して楽しんでいただける場を提供することができました。

▶ 南風祭実行委員会より（実行委員長 医学科３年 岸田 紫門）

模擬店の再開に向けて、実行委員会は地域の業者様や保健所の方々と連携し、食品衛生や安全対策に細心の注意を払いながら準備を進めました。少しずつコロナ禍以前の姿を取り戻すためのきっかけの年にできればという思いで、部活動による模擬店での食品販売の復活に注力しました。

自分たちの学びを、自分たちで創る！

医学教育学生部会「BRIDGE」

BRIDGE は、医学教育の享受者である学生が主体的かつ継続的に医学教育へと関わることを目的に生まれた団体です。
活動は月に１～２回程度行っており、医学教育に関するアンケート調査などを行い、それを通じて学生側の要望を抽出し、医学教育関連の会議の中で教員側へ伝える等、いわば学生と教員との“架け橋”となるような活動をしています。他にも、学生の代表としてカリキュラム委員会や臨床実習部会など様々な委員会に学生委員として参加します。
現在は数年間のアンケート調査の結果をもとに、高知大学の医学教育について解析を行い、医学教育学会での発表に繋げようとがんばっています！

医学部だって、勉強だけじゃない！部活と勉強を両立

サークル・課外活動

心身の健康や成長を促し、情操を豊かにしてくれる課外活動。
本学部では、学生の部活動・サークル活動を推奨し、勉強との両立を支援しています。

注目のサークル紹介

SPORTS CLUB

体育系サークル

サッカー！！！！！

医学部サッカー部

私たちサッカー部は学年の垣根を越えて部員同士の仲がとても良いです。週3回、40 人ほどで活動しています。強いチームになり、大会で優勝できるよう、全員で支え合いながら励んでいます。またサッカーを通して一人の人間として成長し、医療者としての精神を養うことを目指しています。

初心者も経験者も大歓迎！！

医学部卓球部

卓球部は、毎週水曜金曜の週２回、男女合同で練習を行っています。大学はじめの初心者から、長年卓球を続けてきた経験者まで幅広い層が在籍しており、誰でも始めやすい部活の一つです。半数以上が大学はじめの初心者でしたが、頼もしい先輩も多く、先日の全日本医科学生体育大会王座決定戦では女子団体が優勝を果たしています。仲間思いの優しい部員が多く、穏やかな雰囲気が絶えない和やかな部活です！

学生生活ガチ勢が陸上部に多いのはなぁぜなぁぜ？

医学部陸上競技部

陸上競技部は火水金の週３回、17 時～ 19 時で練習しています。練習への参加は自由、かつ土日はお休みのため、学業やバイト、遊び、全てを全力で取り組めます。陸上競技部は走る以外にも、跳ぶ、投げる、と幅広く、初心者でも始めやすいです。実は部員の半数以上が初心者です！勉強の気晴らしや息抜きで動きたい部員から大会で "あれ" を目指す部員までみんなで楽しむ部活です。

大空に向けてナイスショット！

医学部ゴルフ部

ゴルフ部は現在 42 人で活動しています。練習は月曜日、木曜日の 17:00 ～ 19:00 と土曜日の週３回です。平日は大学にあるゴルフ練習場で練習し、土曜日の練習では Kochi 黒潮カントリークラブでプロに教えてもらったり、ラウンド練習したりできるのですぐに上達できます。部員のほとんどが大学からゴルフを始めており、初心者も大歓迎です !! 私たちと一緒に緑豊かな高知県でゴルフを始めてみませんか？

息を呑むほどの青の世界へ

医学部ダイビング部

ダイビング部は、週末や長期休暇などを利用して柏島周辺の海域にて活動しています。本部では必要な器材をすべて部で所有しており、金銭面でも気軽にダイビングを始めることができます。また高知は日本でも有数のダイビングスポットであり、数多くの生き物を間近に観察することができます。日常生活では決して経験できない新しい神秘的な世界を私たちと一緒に楽しみましょう (≧∀≦)

試験とシャトルは絶対に落とさない！

医学部バドミントン部

バドミントン部は、現在男子 35 人、女子 41 人の計 76 人が在籍しています。練習以外にも、キャンプやうどんツアーなど楽しい行事が沢山あり、同期はもちろん先輩や後輩と仲を深められるのが魅力です！練習は、週に２回の２時間程度であるため、勉強やバイトと両立しやすく、大学初めの初心者が多いです。大会や他校の医学部との定期戦も積極的に参加しており、刺激を受けられるとともに、人の輪も広がります！

袴履きたいんだろ？合氣しちゃえよ！

医学部合氣道部

合氣道部は火、木、土曜の週３回活動中！かっこいい袴を履いて体術・武器など色んな演武をしてみませんか？年齢、体格関係なく誰でもできる武道なので、初心者の方・運動が苦手な方でも大丈夫！優しい先輩方やお茶目な師範が丁寧に教えてくれます！もちろん経験者も大歓迎♪
部活で心を磨き、部活外で遊びゴコロを磨く大学生活を一緒に送ってみませんか？

俺より強いやつに会いに行く

医学部空手道部

月曜、火曜、金曜の週３回みんなで楽しくやっています！部員のほとんどが初心者で大学から始めた人が多いですが、大会で成績を収めている部員もいるので本気でやりたい人、軽く体を動かしたい人どんな人でも大歓迎です！

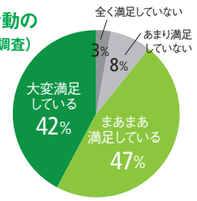
実はけっこうスゴい！
サークル加入率
130%
（2024年度データ）

高知大学医学部では、ほぼすべての学生が部活やサークルに所属しており、２つ以上の団体に加入している学生も多くいます。みなさんも入学が決まったら、ぜひ興味のある活動を見つけてください。

IR DATA

「クラブ・サークル活動の満足度」（2024年度調査）

医学部のある岡豊キャンパスには 22 の体育会系サークルと 17 の文化系サークルがあり、多くの学生がその活動に満足しています!



注目のサークル紹介

CULTURE CLUB

文化系サークル

救急医療をみんなで学び、みんなで活かす

ACLS 南国

ACLS 南国サークルは、救急医療の座学や実際の器具を使用した手技を、月１～２回程度学んでいます。学生同士で教え合ったり、分からないことも先輩方が優しくフォローしてくれるので、楽しい雰囲気で活動しています。また、オープンキャンパスの救急医療体験や高知の医療スタッフボランティアといった経験を活かす活動もあり、学生のうちから救急の世界に触れることができます。

必要なのは、あなたの「声」だけ！

医学部合唱団

合唱部は、火曜日と木曜日の週２回、17 ～ 19 時までの２時間活動しています。部員数が多くないため、部員の予定に配慮しながら、アットホームな雰囲気で部活動を行なっています。11 月に行われる定期演奏会や、不定期に行われるミニコンサートに向けて、日々練習に励んでいます。入部にあたって必要なものは特にないので、大学から音楽を始めたい方や歌うことが大好きな方にぴったりの部活です。

「生けメン」「華（カール）がある」になりませんか

小原流華道部

小原流華道部は、月１回木曜日に活動しています。月１回のみの活動で自由参加なので、他の部活との兼部や学業、アルバイトとの両立もでき、ほとんどの部員が兼部しています。部員のほとんどが初心者ですが、師範の先生が優しく教えてくださるので毎回ゆるく楽しくお稽古しています。月１回のお稽古以外に、スチューデントナース授与式や白衣授与式などの式典用に大きな作品も生けています。

ジャズを通じて、自由に音楽を楽しもう！

ジャズ研究会

ジャズ研究会は、部員 20 人程度の規模の小さい部活ですが、毎週木曜日、黒本と呼ばれるジャズ専用の楽譜を用いてセッションを楽しんでいます。サックス、ピアノ、ドラム、ギターなど、使っている楽器は様々で、自由に演奏しています。また、不定期で外部の大学の方ともセッションを行い、交流を深めています。初心者の方も、楽器経験者の方も、音楽が好きであれば誰でも楽しめる部活です！ぜひ遊びに来てください！

みんなで漢方を学ぶ！ゆったりサークル！

漢方研究会

漢方研究会では、月１回（水 or 金）の 19 時頃から１～２時間程度の活動をしています！内容は、近森病院の総合診療科部長をされている先生とのディスカッションや、親睦会、イベント参加等を行っています！実際の医療現場では、漢方薬はとても身近で処方しやすいお薬として頻用されていますが、大学で深く学ぶ機会は少ないですが、そこで、この漢方研究会を通じて楽しく"学び、西洋医学も東洋医学も分かる医療者になりましょう！

部員少なし！自由な部活です

医学部美術部

部員数も少なく、存在感の薄い部活です。部員が少ないため絵や造形など何でも好きなことができます！また南風祭では部員の作品を展示することもあります。美術に興味のある方、自由が好きな方などはぜひいらしてください！

サークル一覧

■ 体育系サークル　■ 文化系サークル　◇ 文化系サークル（医療系）

- ■ 合氣道部
- ■ 空手道部
- ■ 弓道部
- ■ 剣道部
- ■ 硬式庭球部
- ■ ゴルフ部
- ■ サッカー部
- ■ 蹴球会
- ■ 柔道部
- ■ 準硬式野球部
- ■ ソフトボール部
- ■ ダイビング部
- ■ 卓球部
- ■ バスケットボール部
- ■ バドミントン部
- ■ バレーボール部
- ■ ハンドボール部
- ■ ヨット部
- ■ ラグビー部
- ■ ワンダーフォーゲル部
- ■ 水泳部
- ■ 陸上競技部
- ■ 囲碁・将棋部
- ◇ ACLS 南国
- ◇ ACT-K
- ■ 合唱団
- ■ 小原流華道部
- ■ 管弦楽団
- ◇ 漢方研究会
- ■ 軽音楽部
- ■ ジャズ研究会
- ■ 裏千家茶道部
- ■ 写真部
- ■ ダンス部
- ■ 美術部
- ◇ フィールド医学研究会
- ◇ MHCC 部
- ◇ 地域医療研究会 ARMS
- ■ まんが研究部

CAMPUS MAP

高知大学医学部は敷地内に附属病院や各研究施設、看護宿舎など多くの棟で構成されています。南国の日射しが明るく降りそそぐなか、学生たちはこのキャンパスで勉強にサークル活動にと充実したキャンパスライフを過ごしています。

● 病棟の呼称について

高知大学医学部附属病院は、平成 23 年度から再開発事業に取り組んでおり、平成 27 年 4 月に E 棟、令和 7 年 2 月に D 棟が完成しました。今後、第一病棟部分改修、中央診療棟部分改修、外来診療棟全面改修を段階的に予定しており、各改修完了後、名称が C 棟、B 棟、A 棟に変更されます。

実習棟

3 階には講義室があり、1・2階は解剖実習や顕微鏡を使った実習などをはじめとする基礎医学の様々な実習が行われる実習室があります。

附属病院 D 棟

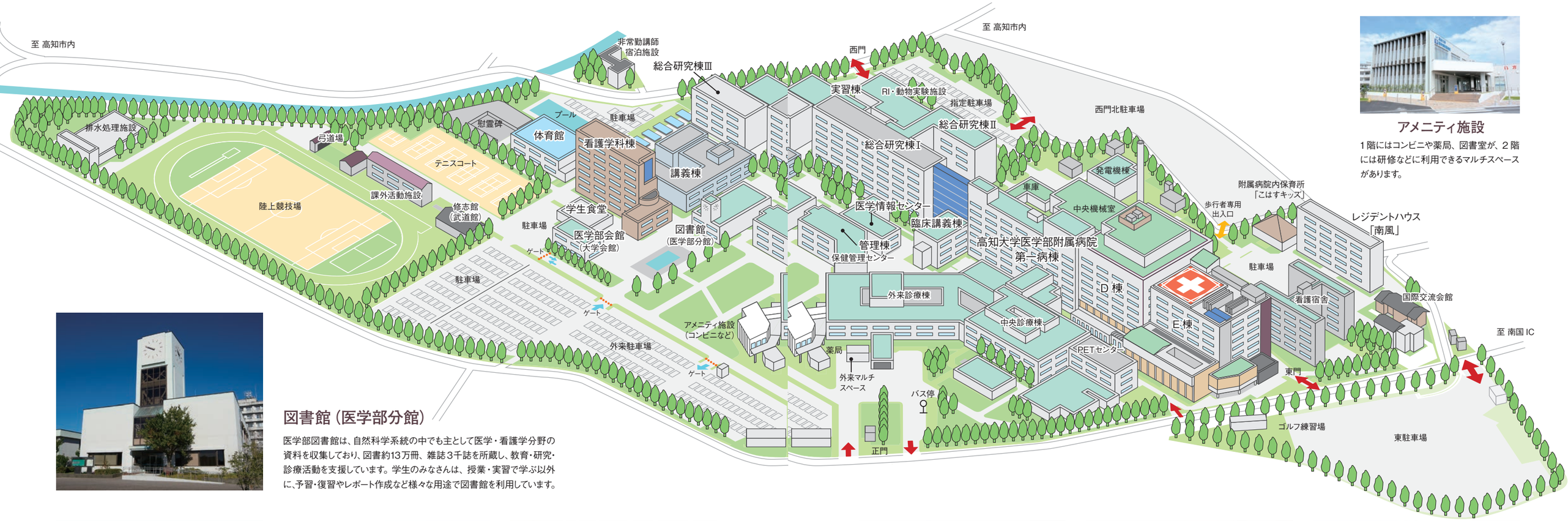
令和７年２月から稼働しているＤ棟は免震構造となっています。救急 HCU、透析室や感染対応フロアを備え、小児科病棟にはホスピタルアートが施されています。

附属病院 E 棟

平成27年 4月から稼働しているＥ棟は免震構造となっています。ヘリポート、避難スロープを設置しており、安心して療養・治療を受けられます。

レジデントハウス「南風」

鉄筋コンクリート５階建てで、1階教育研究施設にはスキルスラボおよび低侵襲手術教育・トレーニングセンターがあります。２階以上は研修医などの居室となっており１室 25㎡と快適な居住環境が整備されています。



アメニティ施設

1 階にはコンビニや薬局、図書室が、２階には研修などに利用できるマルチスペースがあります。

図書館（医学部分館）

医学部図書館は、自然科学系統の中でも主として医学・看護学分野の資料を収集しており、図書約13万冊、雑誌３千誌を所蔵し、教育・研究・診療活動を支援しています。学生のみなさんは、授業・実習で学ぶ以外に、予習・復習やレポート作成など様々な用途で図書館を利用しています。

看護学科棟

講義室、実習室、演習室・学習室などがあり、学生はいつでも技術練習ができます。また、気軽に教員の研究室を訪れることができ、看護学科棟はいつもオープンでにぎやかな雰囲気に包まれています。

講義棟

主に医学科の１年生から２年生までの講義がここで行われます。建物は２階建てで、教養科目や基礎医学の講義が行われています。1 階には英語の講義で使うLL 教室などもあります。

臨床講義棟

建物は２階建てで、臨床系講義に使用します。２階に 264 席を有する大講義室があり、学生の授業のほか、学術講演会や各種研修などにも利用されています。

保健管理センター

医師や看護師が在中し、病気やけがの応急手当、健康相談、メンタルヘルス上の相談やカウンセリング等を行っています。気分が悪い時などに使用できる休養ベッドも用意してあります。

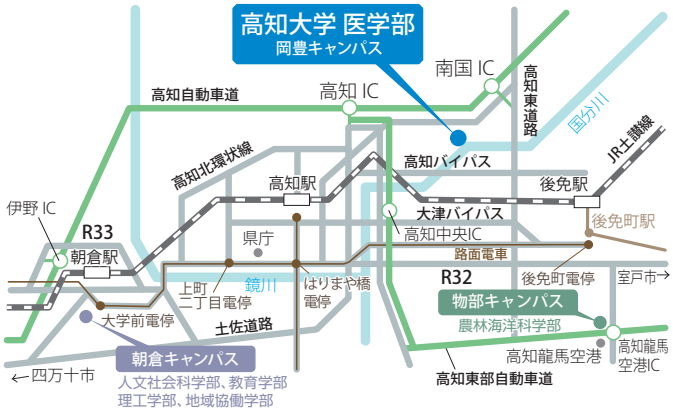
学生食堂

好みのメニューを選べるカフェテリア方式で、授業などで忙しい学生たちの食生活を支えています。メニューも豊富で、栄養バランス、味、価格も満足できるはずです。

医学部会館

談話室、研修室、和室があり、学習・サークル活動などに利用できます。医学･看護学の専門書､雑誌､小説､文房具、解剖器具なども販売している書店を併設しています。

ACCESS



所要時間の目安
- ●高知龍馬空港から ……車で約30分
- ●高知駅から ……車で約20分
  - バスで約30分
  - JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- ●南国ICから ……車で約10分
- ●高知ICから ……車で約15分

高知大学 医学部 医学科／看護学科

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮（なんこくし おこうちょう こはす）
Tel 088-866-5811（代表）／入試お問い合わせ Tel 088-880-2295

高知大学受験生サイト ▶ https://nyusi.kochi-u.jp/

発行　医学部・病院事務部 学生課 入試室